

2014年12月 プーチン大統領による記者会見（2014年12月18日）

2014年12月18日、プーチン大統領は1,259名のジャーナリストを前に、3時間以上に及ぶ記者会見を行った¹。

冒頭、プーチン大統領から2014年の出来事や経済情勢などについて説明があり、その後、質疑応答が行われた。

質疑応答の対象は、西側による経済制裁や油価下落の影響、今後の経済情勢の見込み、政府やロシア中銀の対応、ウクライナ情勢、冷戦の可能性、中国やトルコ、イランとの外交関係など多岐の分野に亘った。

回答からは、最近のロシアの経済や政治に関する課題についてのプーチン大統領自身の考え方が伺える。少し日が経ってしまったが、本メモで紹介することと致したい。



1. 質疑応答の要点

(1) エネルギー資源価格の下落について

- 低いエネルギー価格が続いたとしても、経済が成長しエネルギーに対する需要が増加することによりエネルギー価格が上昇し始める時が必ず訪れる。
- 最も悪いシナリオではそれには数年かかる。低価格のエネルギー資源という環境下で、経済が時代や仕事に適合していく。その間に経済が再構成され、多様化が行われる。

(2) 経済の再構成について

- エネルギー資源に投資することによって莫大な利益をあげることが出来る時期に製造業の発展のために好ましい環境を創造することは困難であったが、時代が変わった。時代そのものが他の産業に対して投資することを強要している。

¹ 「News conference of Vladimir Putin」 <http://eng.kremlin.ru/transcripts/23406>: ロシア大統領府ホームページ

- 製造設備に対してもっと補助が必要である。極東地域のようにより多くの特別な配慮を必要としている地域を開発する必要がある。

(3) ルーブルの下落について

- ロシア中銀は基準金利の引き上げ、レポ取引の導入などによる外国通貨へのアクセスの強化などによって適切に対応を行っている。
- ロシア政府は国内市場における外国通貨の買取を禁止することまでは行わない。
- 輸出業者は将来の支払いに備えて外貨を蓄えている。総額は 3,000 億ドルを超えると考えられる。

(4) 貸出金利について

- ロシア中銀は基準金利を引き上げる一方、中小企業に対する貸出金利を 6.5%に、プロジェクトファイナンスに対する貸出金利を 9%に据え置いている。
- 住宅ローン市場を支えるために、政府やロシア中銀は、若い家族や軍人などの特定のカテゴリーの人に対する特別金利を検討する必要がある。

(5) 西側諸国との軍事的対立について

- ベルリンの壁崩壊後に、西側は、「NATO は東側に拡大しない」と言ったが、拡大はすぐに始まった。国境のすぐそばの対ミサイル防衛システムは新たな壁である。「ヨーロッパや世界を分断する線引きは行わずに協力しよう」というロシアの試みにも拘らず、西側は壁を築くことを止めなかった。
- ウクライナを含む危機的な状況におけるロシアの強固な姿勢は、「最善策は、壁を築くのは止めて、安全保障や経済的な自由のための人道的な共通の空間を築き始めることである」というメッセージを送るものであった。
- 1990 年代の初めにロシアは、かつてソ連が行っていた離れた監視区域での戦略的な軍用機の飛行を止めたが、米国は核兵器を搭載した戦略的な軍用機の飛行を止めなかった。ロシアは数年前に、かつて行っていた飛行を再開しただけであり非難に値しない。
- ロシアは米国やその他の国の国境に軍事力を動かしていないが、NATO 基地やその他の軍備はロシアの方に動かされている。一方的に ABM 条約から脱退したのはロシアではなく米国である。
- ロシアは、安全保障やテロとの戦い、核の不拡散、麻薬、組織的犯罪などにおいて正常な関係を発展させたい。パートナーが望むのであれば経済面でも協力出来る。

(6) ウクライナ情勢について

- 南東ウクライナで起きていることは過酷な軍事行動であるが、これはキエフ政府によって行われているものである。南東部の自衛団は兵士ではない。
- 経済制裁や軍事力という強制的な方法を用いて事態を収拾させるよりも、対話を行う

こと、政治的な手段を用いることによって調停にたどり着き、1つの政治の場を取り戻すことが重要である。

- 9月に署名されたミンスク同意書は非常に重要なポイントであり、遵守されなければならない。

(7) 西側の経済制裁について

- 現在の経済の展開はクリミアのために支払わなければならない代償ではなく、国や国民、連邦を守りたいという強い願望に対する対価である。全ての問題のうち、制裁に抛るものは25～30%にのぼるであろう。
- ロシアはWTOに参加したが、WTOの規則や国際法や国連憲章を侵害して一方的で非合法的な制裁がロシアに課せられた。
- 対抗措置として新車や中古車の輸入禁止が検討されたが、結局それは行われず、為替レートの変動によって輸入が困難になった。

(8) 外交政策について

- ロシアの東への転向は国際経済の過程から来るものである。アジア太平洋地域は世界中のどの地域よりも早い経済成長を見せており、新たな可能性が開かれている。
- 中国との契約は損失が生じるものではない。価格決めの計算式は欧州のものとはそれほど違わない。ロシアは、事業の最初の段階で巨額のまとまった資金を受け取る。これによって極東地域のガスパイプライン建設や国の西側と東側の間でガス運搬グリッドの連結を行うことが出来るようになる。
- 中国とロシアは最大の貿易・経済パートナーであり、両国間の貿易は年間900億ドルにのぼる。最優先事項は貿易や経済を多様化することである。ロシアはハイテク製品のシェアを増やすことにより貿易構造を変えることに関心がある。中国に対しては原子力発電所の建設、宇宙探索、重量運搬ヘリコプターを含む航空機製造で協力している。両国は国連や安全保障理事会で非常に緊密に活動しているが、これらの機関における両国の協力は国際情勢の安定化にとって重要である。
- トルコについては、経済が成長しており、エネルギー供給の増加を希望している。ロシアとトルコは非常に多くの一致した地域的利益を有しており、ロシアは両国の関係の発展に高い関心を有している。
- イランとの原子力発電所建設についてロシアは約束を果たす。

(9) ホドルコフスキーの恩赦について

- ホドルコフスキーの恩赦は、彼からの重体の母親に会いたいという嘆願書に応えた人道的な配慮から行った。刑期はほとんど終了していた。彼が今後政治に関わるかどうかについては、彼もロシア国民としての権利を有しており自由である。

2. 所見

プーチン大統領はこの記者会見を通して、国内外に彼のメッセージを伝えた。

西側による NATO の東方への拡大や対ミサイル防衛システムの強化に対しては、「西側が新たな壁を構築している」という表現を用いて強く非難した。ただし、一方で「安全保障やテロとの戦い、核の不拡散、麻薬、組織的犯罪などにおいて正常な関係を発展させたい。パートナーが望むのであれば経済面でも協力出来る」と述べ、必要な分野では国際的な協力を行う意思も示した。

ウクライナ情勢については、経済制裁や軍事力という強制的な方法を用いるよりも、対話などの政治的な手段を用いることによって調停にたどり着き、1つの政治の場を取り戻すことが重要であると訴え、表向きにはロシアによる軍事的援助を否定した。

原油価格の下落、経済制裁、ルーブルの下落などによるロシア経済の後退については、「いずれ、経済が成長しエネルギーに対する需要が増加することによりエネルギー価格が上昇し始める時が必ず訪れる。その間に経済が時代や仕事に適合して再構成され、多様化が行われる。」という楽観的な見方を示した。また、政府やロシア中銀によって行われた政策についてはおおむね適切に行われたと評価している。

アジア太平洋地域は世界中のどの地域よりも早い経済成長を見せており、新たな可能性が開かれているとし、今後もロシアの経済活動の発展のために東に向かう姿勢を示した。特に中国については今後も両国間の貿易を更に増加させ、原子力発電や宇宙探索などの分野で経済協力関係を強化するとしている。また、国連や安全保障理事会における中国との協力についても触れており、今後ロシアと西側との対立がさらに深まるようであれば、両国のつながりがより深まる可能性もあると思われる。

本記者会見後 3 カ月を経た現在、油価やルーブルは若干上昇し経済情勢は落ち着きを取り戻しつつある。一方、東南ウクライナ紛争解決の糸口は見えず、「クリミア編入の過程においてロシアは軍隊を送り核兵器の配備も行った」というプーチン大統領の発言も行われ、ロシアと西側との間の緊張は高まっている。引き続きロシア経済・政治情勢の動向を注視することと致したい。

3. 仮訳 「プーチン大統領による記者会見」

大統領の記者会見は、テレビ局の Channel One、Rossiya-1、Rossiya-24 TV channels や、ラジオ局の Radio Rossii、Mayak、Vesti FM で報道された。国内外 1,259 名のジャーナリストが記者会見に臨むことを許可された。

プーチン大統領：

私は前回のように高揚した気分で皆さんにお会いできてうれしいです。私は最初に今年行われたことについて簡単に述べ、その後で皆さんの質問に応える事とします。

最初に、最も重要なこと、経済の実績についてお話します。今年最初の 10 カ月に GDP は 0.7% 成長し、最終的な数字は 0.6% になると見込まれています。私は昨日同僚と会い最終的な数字を固めました。貿易収支の黒字は 133 億ドル増加して 1,484 億ドルになります。

工業生産は昨年の一時的な静止状態から少し持ち上がりました。今年最初の 10 カ月に 1.7% 増加しました。失業率は低く、いったん 5% を割り込み今は大体 5.1% 位です。

農業工業部門が成長しています。今年終わりまでには約 3.3% の成長率が見込めます。皆さんが御存知のように、今年の作物生産量は 1.04 億 t です。

荒れ狂う金融市場の状況にもかかわらず、今年連邦政府予算はプラスの見込みです。収入は支出を 1.2 兆ルーブル (200 億ドル以上) 上回り、GDP の約 1.9% になります。財務省が最終的な精算を行っていますが、財政の黒字は間違いありません。

社会政策面の主要な業績は人口の増加です。最初の 10 カ月の人口増加は 37,100 人です。この国では死亡率が下がり出生率が増加しているのです。これはとても良い傾向であり、これを維持するためにあらゆる努力を行わなければなりません。約束したように私たちは出産費用の補助を継続します。2014 年にはそれは 429,408 ルーブルにのぼります。

私たちは、10 のタイプの仕事について今年の賃金割合の目標を上回ることが出来ました。私が何について話しているのか皆さんは御存知だと思います。それは、学校や社会人教育を行う機関の先生や、カウンセラー、大学教授、医者、看護師や医療従事者、文化機関の職員などです。2014 年に私たちはインフレに対応して年金を 2 回見直しました。2 月 1 日に 6.5% 引き上げ、4 月 1 日に 1.7% 引き上げました。

私たちは今年、戦闘能力や軍備の効率性を引き上げることに非常に注力しました。ここで詳細は申し上げませんが、厚生面について言えば、2014 年に国防省の 11,700 名の職員が永住用住居を与えられ、15,300 名が住宅サービスを得ました。これは今年目標を 100% 充足しています。

私が最初に示したい数字はこれらです。次に最近の状況について少し話します。私は国民の皆さんの主な関心は、経済の状況や国の通貨、そしてこれらが社会政策面の発展にどのような影響を与えるかということだと、私達全員が理解していると思っています。私はこれについて少し話し、それがどのように発展していくのかについて述べたいと思います。

基本的にそれをもってこの記者会見は終了となります。(笑い) もちろん、皆さんからそれ以上の質問があればお答えします。

現在の状況は、明白に、外部要因によって引き起こされています。しかし、私は過去 20 年間に亘り経済を多様化させるために行われる必要があります、計画されたが達成できなかった多くの事柄に関する見解から始めます。実業界は最も多くそして早く利益が保証される分野に投資を行うことを好むという国際的な経済環境の下では、これは非常に困難なことです。このメカニズムは簡単に変えることの出来るものではありません。

現在、皆さんが御存知のように、石油やガスといったエネルギー資源の価格を主とした国際的な経済要因の影響下で、環境が変わりました。私は政府や中央銀行がこの環境下で適切な方策を採っていると思います。私たちは、政府や中央銀行の政策のタイミングや質について疑問を投げかけることが出来るでしょうが、全般に、彼らは適切に行動し正しい方向に動いています。

私は昨日や本日の外国為替相場の落ち込みと、私たちの国の通貨であるルーブルの上昇が続くことを望みます。それは可能でしょうか。可能です。油価の下落が続くとしたらそれは私たちの国の通貨やその他の経済指標やインフレに影響を与えるでしょうか。影響を与える可能性はあります。

私たちはこれに対して何を行う予定でしょうか。私たちは、2008 年に用いてうまく行った政策を行う予定です。これに関して、私たちは援助を本当に必要としている国民に焦点を当て、社会政策の目標や計画を継続する必要があります。これは主として年金や公共部門の賃金に関係します。

何らかの不都合な進展があった場合には、私たちは計画を調整しなければなりません。私たちは、何らかの支出の削減を余儀なくされるかも知れません。しかし、同様に専門家たちがポジティブなリバウンドと呼ぶものが起きることも確かなのです。さらなる成長やこの状況が解決されることが間違いないということには少なくとも 2 つの理由があります。1 つは、たとえ成長率が低いとしても世界経済は成長し続けるということです。経済が成長し、私たちの経済もこの状況から抜け出せるのです。

それにはどのくらい時間がかかるのでしょうか。最も悪いシナリオでは、数年はかかると思います。しかし、その後は国際経済の状況の変化によって確実に成長します。成長する国際経済は追加のエネルギー資源を必要とします。一方、それまでの間に私たちが私たちの経済を多様化させるために多くのことが出来ると信じています。何故ならば、時代がそれを私たちに強要しているからです。他に私たちが採れる方法はありません。

私たちは既存の準備基金を用いて約束したことを果たしていきます。幸運なことに今年準備基金は増加しました。

ロシア中銀の準備基金は 4,190 億ドルにのぼります。ロシア中銀はこれをすべて“使い尽くす”ことはしません。政府の準備基金である安定基金と準備基金は今年 2.4~2.5 兆ルーブル増加して 8.4 兆ルーブルになりました。これらの準備基金を用いて、私たちは冷静に私たちの主要な社会政策の課題を解決し経済の多様化を図ります。繰り返しますが、状況は

疑いなく正常なものに戻ります。

私はここで前置きを終わります。ここで記者会見を終わらせることもできますが、質問があれば回答いたします。

大統領府報道官 ドミトリー・ペスコフ氏：

今年は、大統領と協働してきたクレムリン報道記者室から始めたいと思います。最初にプーチン大統領と何年も働いてきた Vyacheslav Terekhov 氏にお願いしたいと思います。

Vyacheslav Terekhov 氏：

はっきりさせておきたいことがあります。国の状況から判断して、私たちは非常に深い通貨危機の真ただ中にいるのではないのでしょうか。ロシア中銀の職員たちも、「このようなことは予期できなかった」と言っています。

あなたが言われた様に、状況は 2 年間で良くなり、私たちはこの経済・金融危機から立ち直ることが出来ると信じていらっしゃるのでしょうか。この月曜日と火曜日のルーブルの“ブラック・マンデー”について、政府やロシア中銀に対する非難が高まっています。あなたはこの非難に同意しますか。

プーチン大統領：

最も不都合な国際経済状況の下で、この状況は約 2 年間は続くとおっしゃいました。しかし、それはそれほど長引かず、状況がすぐに良くなる可能性もあります。来年の第 2 四半期に良くなるかも知れませんが、年の半ばや終わりに良くなるかも知れません。

誰も解りません。多くの不確定なことがあります。従ってそれを危機と呼んだり、それ以外のものとすることもできます。どんな用語も適用できます。しかし、私はロシア中銀やロシア政府が全般的に、この状況に対して適切な手段を講じたと思います。もっと早く行うことのできたこともあると思います。専門家たちが非難しているのはこれではないのでしょうか。

これらの施策が何に関わるものであり、ロシア中銀やロシア政府は実際に何を行っているのでしょうか。第 1 に彼らは基準金利を引き上げました。私は国際経済状況に関する複雑な展開が続く間この水準が保たれ、経済が何とかそれに適合することを望みます。

私の楽観の基にあるものは何でしょうか。低価格のエネルギー資源という環境の下で、経済が時代や仕事に適合するという考えです。それが現実化するでしょう。

油価が現在の水準や、1 バレルあたり 60 ドルや 40 ドルあるいはそれ以下の水準にとどまるのであれば、経済はどれだけ早くそれに適合出来るのでしょうか。私たちにとって、それはどのようにでもなります。経済は単純に再構成されなければならないのです。それはどれだけ早く起きるのでしょうか。これは分かりません。しかし避けられないことです。私は強調しますが、それは現実化します。

ロシア中銀は何をしているのでしょうか。彼らは基準金利を引き上げました。その他に

彼らが行わなければならないことは何でしょうか。そして、彼らはすでにどれだけ行えたのでしょうか。国の通貨を安定化させるために、彼らはルーブルの流動性を制限し、経済主体に海外通貨の流動性に対してアクセスすることを認めました。これが、ロシア中銀が行っていることです。彼らの外国通貨の金利は非常に低く、0.5%です。

一般的に、私は基準金利の引き下げに関する判断はロシア中銀が行うべきものだと考えています。彼らは状況を見てそれに応じて行動しなければなりません。彼らは私たちの金や外貨準備金を渡したり、マーケットで使い尽くすべきでなく、貸出資金を提供すべきなのです。彼らはこれをうまく行っています。

いわゆるレポ取引が、ここでは良く知られた手法です。それには、1日、1週間、28日間、1年間のものがあります。それは返済が行われる資金であり、経済主体に外国通貨を利用する機会を与えることが出来るのです。全てが適切に行われています。

それらは少なくとも1.5倍くらい早くなります。もちろん、ロシア中銀やその統治者に対する非難を知っています。いくつかは正当なものであり、そうでないものもあります。政府にも責任があります。彼らは、多くの海外通貨収入のある輸出業者と協働すべきです。

首相が主要企業のトップと面談を行い、その結果を知ることが出来ます。彼らの多くは借入金を返済する必要があり、彼らの企業が置かれた状況について考えています。

各企業は、各個人のように、“雨の日”に備えて資金を蓄えようとします。そのような行動は許されるのでしょうか。経済的な論理から言えばそれは許されません。それにも拘らず企業はそうします。今、私たちはその結果を目にしています。“リバウンド”が起きているのです。

政府は、その他の方策も採るべきです。何を意味するのでしょうか。例えば、インフレと戦うことはもちろん中央銀行の仕事ですが、私たちがすでに言及し、私が政府との会議で話したことがあります。

例えば、石油や食料価格は彼らが仕事をすべきことです。このような状況下では、誰が何を言おうが、“実践的な”アプローチが必要です。政府は製造業者や、市場で働く人々、小売業者、市場で独占状態にある石油会社と会うべきです。連邦独占禁止局は適切に機能するべきです。

この働きかけは、中央銀行や政府の権限を侵すことなく、共同で合理的に行われなければなりません。かれらは働きかけを調整し、時宜に合ったやり方で行わなければなりません。

ロシア中銀のナビウリナ総裁を非難することはできますが、概して彼らの政策は正しいということを中心に留めておくべきです。国の経済状況に責任を負っているのはロシア中銀だけではないのです。

ドミトリー・ペスコフ氏：

クレムリン報道記者室の Komsomolskaya Pravda の Alexander Gamov さん、何かお聞きしたいことはございませんか。

Alexander Gamov 氏 :

大統領、最初に多くの人々がこの記者会見であなたに会うことを待ち望んでいたということをお伝えします。多くはあなたの雰囲気を確認しようとしていました。何故ならそれがこの国全体の雰囲気を決めるからです。あなたはここで何度も微笑みました。楽観的な姿勢に感謝いたします。私たちは、すべてがあなたの言われた通りになることを望みます。

2008年以來私たちは、石油に対する過度な依存を取り除き、私たちの経済をより効率的なものとするために再構築することの必要性について話してきました。しかしここ数日間に起きたことは、私たちがそれを達成できなかったことを明らかにしました。

私たちはいまだに石油に依存しています。これがどれ程長く続くのかについては誰も知りません。あなたが個人的にどのようにお考えなのかについて教えて頂けませんか。私たちはこの危機を有利に用いて依存を無くして経済を再生することが出来るのでしょうか。それには時間がかかると思いますが。

次に、連邦議会における演説であなたは、長い間懸案とされていた多くの法案を示しました。しかし、御存知のようにロシアには、大統領決議を含むすべての重要で有益な決議が、お役所仕事や怠惰によってうやむやになる危険性があります。

あなたの決議が実施され、あなたの楽観が現実の行動によって支えられることについて自信をお持ちでしょうか。

プーチン大統領 :

皆さんが御存知のように、保証された政策だけが自信をもたらします。私たちにとっての主要な保証とは、正しいマクロ経済政策と社会的な課題を解決するための準備基金です。これらが私たちに自信を与える保証された政策なのです。

過度なお役所仕事に関しては、ここに EU の方々も出席されていると思います。その人たちにブリュッセルにおけるお役所仕事について尋ねれば、答えてくれると思います。私たちの官僚主義は彼らの官僚主義と比べれば子供の遊びみたいなものです。

確かに問題はあります。そしてそれはお役所仕事のことでありません。何かわかりますか。それはお役所仕事の中で行き詰った決定のことではありません。それは、経済主体に対してエネルギー資源や化学工業、金属に対する投資を強要する国際経済情勢です。原材料とは関係ないビジネスに対する、政府による全ての税制度や支援の微調整の試みにも拘らず、予算には十分な資金が無いために、これはとても複雑なプロセスとなっています。私たちはこれらの制度を何年間も使ってきました。私たちは製造業の発展のためにより好ましい環境を創造しようとしてきました。しかしそれは困難さとともに進んできました。エネルギー資源に投資することによって莫大な利益をあげることの出来る時期には特にそうでした。御存知のように、政府に対する申請の 80%以上はハイテク分野に対する投資というよりも何らかの鉱床へのアプローチに関するものでした。何故なのでしょう。それは、そこからは早く莫大なリターンを得ることが出来るからです。

質問に戻りますと、状況が変われば、時代そのものが私たちに他の産業に対して投資す

ることを強要することでしょう。奇妙かも知れませんがそれが私に自信を与えるのです。実際にはそれはもっと困難なことです。実際には私たちは社会的な問題を費用がいくらかかろうとも解決し、2012年の大統領令の社会問題のセクションで定められた目標を達成しなければなりません。

私たちにそれが出来るのでしょうか。できます。しかし、同時に私たちは現在の状況を利用して生産開発や経済的な多様性の発展のための追加的な条件を創造する必要があります。私は最近の事態がこれを可能にすることを望んでいます。

Kommersant Newspaper の Andrei Kolesnikov 氏 :

大統領、2012年の始めの選挙前の記事において、あなたが当時の状況について、“ロシアは集中化している”と述べたことを伝えました。今、我が国に何が起きているかについて教えて頂けませんか。それは何を行っているのですか。ロシアはまだ集中化しているのですか、それとも集中化を止めて緩和を行う時が来ているのでしょうか。

プーチン大統領 :

私たちは働かなければなりません。それについては変わることはありません。更に現在の状況は私たちに前進することを強要しています。私は異なった視点からそれに取り組んでいます。あなたやあなたと同僚も同じ課題を想定していることと思います。私たちは働かなければなりません。外部の状況は私たちに革新的な発展に推移するためにより効率的になることを強要しています。

私たちの将来の経済が必要とするものは何でしょうか。私たちはビジネスに好ましい状況を創造し、起業を自由にし、財産所有の権利を保証し、警察が競争のためにこれらを使いたがらない者を追いかけることを止めさせなければなりません。私たちは製造設備に対してもっと補助が必要です。極東地域のように多くの特別な配慮を必要としている地域を開発する必要があります。

私たちはこれを行っているのでしょうか。行っています。演説で私は実施プログラム全般についてお話ししました。中小企業に対する4年間の免税や、重大な違反のない会社に対する3年間の監査免除についても話しました。私たちは集中してこれを行い、真の努力によってこれを支えなければなりません。

NTV Television Company の Vladimir Kondratyev 氏 :

大統領、最近、ベルリンの壁崩壊後25周年を迎えました。あなたはドイツ民主共和国で働いている時にこれを目撃されました。私たちが望んでいたほどではないかも知れませんが、多くのことが成し遂げられ一定の実績が上がりました。ロシアが、ヨーロッパとのビザなし旅行の契約に近づけたことはあなたの粘り強さのおかげです。

この25周年の年に、僅か数週間の間新たな壁が現れました。それはコンクリートで出来たものではありませんが、疎外や疑い、相互不信、相互非難の壁です。この冷え込みは

どうなっていくのでしょうか。新たな冷戦の始まりだという者さえいます。私たちは分裂された世界に生きるのでしょうか、それとも会話や協力を復活させる可能性はあるのでしょうか。

プーチン大統領：

ベルリンの壁について話されましたが、今、新たな壁が築かれようとしています。お答えしますがあなたが私に賛成してくれることを望みます。

これが起きたのは今ではありません。あなたはドイツとヨーロッパの専門家ですね。ベルリンの壁崩壊後に彼らは、「NATO は東側に拡大しない」と言わなかったのでしょうか。しかし拡大はすぐに始まりました。2つの拡大の波がありました。これは壁ではありませんか。確かに、それはバーチャルな壁ですが、しかし迫ってきています。私たちの国境のすぐそばの対ミサイル防衛システムはどうでしょうか。これは壁ではありませんか。

御存知の通り誰も止めなかったのです。これが最近の国際関係の主要な課題です。私たちのパートナーは決して止めませんでした。彼らは彼らが勝者、皇帝であり、その他の全ての国は彼らの奴隷であり圧力をかける必要があると決めたのです。私は同じことを演説で述べました。これは問題です。ヨーロッパや世界を分断する線引は行わずに協力しようという私たちの試みにも拘らず、彼らは壁を築くことを決して止めませんでした。

ウクライナを含む危機的な状況における私たちの強固な姿勢が、私たちのパートナーに対して、「最善策は壁を築くのを止めて、安全保障や経済的な自由のための人道主義的な共通の空間を築き始めることだ」というメッセージを送るものであると私は信じます。

ウクライナについて触れましたので、ウクライナの方の質問を受けたいと思います。

Roman Tsymbalyuk 氏：

2つ短い質問があります。1つはロシアの方に対する反論になりますが、東ウクライナで行われている過酷な軍事行動です。そこで戦っているのはロシアの軍人や過激派であるというのは公然の秘密です。あなたはそこにどれだけの軍人や武器を送ったのですか。そしてウクライナで何名死亡したのですか。最高司令官としてそこで死んだ軍人や将校の家族に対して何を言うのですか。

2つ目は、私たちには **Viktor** という今ロシアに隠れている大統領がいました。彼はユーリア・ティモシェンコを投獄しました。彼女は釈放されましたがユーリア・ティモシェンコ党の代表の **Batkivshchyna** は最近ロシアで投獄されました。ウクライナのパイロットの **Savchenko** や、ウクライナの映画監督の **Oleg Sentsov**、少なくとも 30 名に及ぶロシアの様々な刑務所に収容されている戦争捕虜は、どのような条件であれば釈放されるのでしょうか。

プーチン大統領：

2番目の質問から答えます。その後で最初の質問に答えます。

ウクライナ国民の Savchenko の釈放の条件については、私は偏見が無く、これについての立場は明確です。この聴衆の中に仲間を南東ウクライナにおける仕事で亡くした記者がいると思います。彼らはどちら側にも属さず、非武装でした。彼らの命や健康を守り、彼らに客観的で十分な情報を伝えるという彼らの職業の義務を果たす機会を与えることは、軍を含むすべての国の機関の義務です。これは文明世界において認識された真実です。彼らは殺されたのです。我が国の法執行当局に抛れば、Savchenko は無線によって砲撃を呼び掛けたのです。事前調査やそれに続く裁判で彼女が関与せず無実であることが立証されるのであれば彼女は釈放されます。しかし、彼女がジャーナリストの殺人に関わっていたことが明らかにされればロシアの裁判所は適切な手続きを取り、判決に従って裁きを受けます。有罪の可能性ということで留置する権利は誰も持っていません。ロシアの法律には無罪推定が備わっています。事前調査がどのように進み裁判所がどのような結論を出すのかを見ましょう。

その他の軍人については、私たちは戦争捕虜とは見なしていません。彼らはロシアで留置され、テロ活動の容疑で取り調べを受けているのです。2 番目の質問に対して言えるのはこれだけです。

最初の質問の責任についてです。ロシアでは、他の大統領制の国と同様に、全てに責任を負うのは大統領です。そして軍の人事の責任は司令官にあります。ロシアでは両方を一人で行っています。

南東ウクライナを含む戦争行為に、自分の意思に従って自発的に参加することによって責務を果たしている者は全て傭兵ではありません。彼らは行いに対して支払いをうけていません。

ロシアの世論は、南東ウクライナで起きていることは実に過酷な軍事行動であると認識していますが、それはキエフ政府によって行われているのであり、その他のものではありません。南東部の自衛団はキエフに送られた兵士ではありません。反対に、キエフ政府はウクライナ南東部でその軍事力を蓄積し、数多くのロケットランチャーや迫撃砲、ジェット戦闘機を用いているのです。何が問題でありどうすればそれを解決することが出来るのでしょうか。これについてもお答えします。政府のクーデター（他の者が何と呼ぼうと、キエフでは軍事的な方法によってクーデターが行われたのです）の後、国の一部はこの展開に合意しなかったのです。

彼らと話し合いを行う努力すらせずに、キエフ政府は機動隊や警察を送り込みましたが、機能しませんでした。彼らは軍隊を送り、これも機能しませんでした。今彼らは経済閉鎖という強制的な方法を用いて事態を收拾させようとしています。

私はこの進路には完全に将来は無く、ウクライナの独立性や国民にとって有害であると信じています。対話を行うこと、(私たちはこれについては仲介の役割を行う用意があります) 直接的な政治的対話を行い、政治的な手段を用いることによって、調停にたどり着き、1 つの政治的な場を取り戻すことが出来るでしょう。

Chanell of Russia の Anton Vernitsky 氏 :

大統領、現在の経済の展開は、私たちがクリミアのために支払わなければならない代償なのではないでしょうか。それを認識すべき時が来ているように思えます。

プーチン大統領 :

それは私たちがクリミアのために支払わなければならない代償ではありません。それは実際には、私たちの国や国民、連邦を守りたいという強い願望に対する対価なのです。

すでに NTV の方からの質問に対する回答で触れたように、また連邦議会での演説でも述べたように、ベルリンの壁の崩壊やソ連邦の解体後、ロシアは私たちのパートナーに対して自身を開放してきました。私たちは何を見たのでしょうか。北コーカサスのテロに対する直接的で本格的なサポートです。彼らはテロを直接支援したのです。これはパートナーが行うべきことでしょうか。これについて詳細は話しませんが、これは確立された事実です。誰もが知っています。

どのような事についても、私たちが何を行っても、私たちは障害や反対、対立に直面します。2014 年のオリンピックの準備、ロシアのスポーツファンばかりでなく世界中のスポーツファンのための祭典の企画に対する、私たちの励みや熱狂を思い出してください。しかし、これは明白な真実なのですが、私たちのオリンピックを企画し招聘する努力を台無しにする、前代未聞の明らかに組織的な企てが行われました。これは否定できない事実です。誰がどんな理由でこれを行う必要があるのでしょうか。

御存知のように、私はバルダイ・クラブで私たちが最も認識出来るシンボルを例に出しました。それは、タイガを守る熊です。私は時々熊がただ座っていることが一番良いことではないかと思えます。タイガの周りの豚を追いかけることを止めて木イチゴを摘み、はちみつを食べるべきなのかも知れません。そうすれば彼は一人で放って置かれるでしょう。しかし、彼にはそれはできません。誰かが常に彼を鎖につなごうとするからです。鎖につながれるや否や、彼らは彼の牙や爪を抜いてしまうでしょう。この例えで私は核抑止について語っています。それが起こり、彼らがもはや熊を必要としなくなったら、タイガは奪われてしまいます。

私たちは、膨大な資源に恵まれたシベリアが全てロシアの領土に含まれているのは不公平だということを、政府高官さえもが言うことがあります。どうして不公平なのでしょう。メキシコからテキサスを奪うことが公平で、私たちが自分の領土で働くことが不公平なのではないでしょうか。いいえ、私たちは同じです。

全ての牙や爪が抜かれてしまったら、熊はもはや全く役に立ちません。多分彼らはそれを剥製にして終わりです。

ですから、それはクリミアに関するのではなく、私たちの独立性や主権、存在する権利を守ることに關するのです。私たち全員が理解しなければならないことはこのことです。

制裁の結果としての経済を含む現在の問題は厳しいものです。全ての問題の内、制裁によるものは 25~30%にのぼるでしょう。前進し続けて戦い、私たちの経済をより良いもの

に変えていき（私たちは現在の状況を私たち自身のメリットとすることも可能です）、より独立し、全てを切り抜けていくのか、それとも私たちの皮が壁につるされることになるのか、私たちは選ばなければなりません。これは私たちが行わなければならない選択であり、クリミアとは全く関係ありません。

Vesti Rossiya-1 Channel の Yevgeny Rozhkov 氏：

まず、クリミアについてはおおよそ明らかです。残っている疑問は、困難なウクライナの過去の後で私たちがその開発のためにどれだけ出費しなければならないのかということでしょう。私にとって最も切迫した質問は、現在彼ら自身がノボロシヤと呼んでいる東ウクライナについてです。ミンクス合意書が成功すると思われませんか。それが和解を助けると思われませんか。私たちはドンバスに対する追加的な援助をどのように行うのですか。それは人道的な援助でしょうか、それともその他のものでしょうか。

プーチン大統領：

私はあなたの質問の一部について、あなたのウクライナの同僚に対する回答で述べたと 생각합니다。私たちはこの危機は遅かれ早かれ解決されると考えています。もちろん早いほど良いですが、これが1番目です。

2番目に、これは、経済的閉鎖や軍事力などいかなる種類の圧力であれ、圧力によって解決されるべきでなく、政治的な方法で解決されなければなりません。そして、もちろん現在実施しているように（御存知のように10番目の人道的トラック団が送られました）、私たちは人々を助けます。結局、私たちは、彼らの運命や自分自身の運命を決めるに当たり、国際法の基本原則や人権から発展していくしかないのです。

私が平和の再構築や問題の解決は政治的な方法によって行われなければならないと言ったのは、偶然ではありません。私たちは共通の政治的な場が再構築されるという前提から始めます。現時点でそれがどのようなものなのか言うことは困難ですが、私たちはこのために努力しなければなりません。問題は、両サイドがこのために努力しなければならないということです。両者ともです。そして、ウクライナの南東部に住んでいる人々には敬意が払われなければなりません。経済の結びつきが再生されなければなりません。

ウクライナの多くの発電所がドンバスの石炭を使っていたことは事実です。しかし、今では、その石炭を買おうとはしません。私たちは、ウクライナの南東部のドンバスの採掘者に対して石炭の供給を行うように、影響を及ぼすことを頼まれました。私たちはそうしました。しかし彼らは石炭を買わないのです。何故でしょうか。何故ならば、彼らは全ての銀行を閉じてしまい、支払いができないのです。私の同僚が昨日言いました。「私たちは支払の準備ができ、前払いの送金をしました。私は照会を行い、前払いが行われていないことが解りました。彼らは採掘者の銀行カードに送金を行ったのですが、カードが機能しないのです。」全てがこのようなものです。しかし、平和的な解決以外のものは有り得ませ

ん。

ミンクス同意書に関して言えば、これについて非常に重要なポイントであり、私たちは彼らがそれを順守することを望みます。何故ならば、ミンクス会議の発案は私とペトロ・プロシェンコによるものだったからです。彼がこのために努力していることについて何の疑いもありません。しかし、彼だけがあちらにいるのではないのです。示唆されることは、このすべてがヨーロッパ本土の危機につながりかねないということです。私はプロシェンコ大統領が解決を目指していると思います。しかし、確固とした行動と歩みが必要なのです。

ミンクス同意書は実施されるべきなののでしょうか、それともされなくても良いのでしょうか。それは実施されなければなりません。私もこれを開始したメンバーの一人です。重要なことを言うので聞いてください。私たちの代表は9月にミンスクで同意書に署名を行いました。そこには軍の撤退についての協定もありました。ドネツクの代表はそれらの協定には署名しませんでした。これは問題です。彼らは最初から「これには署名できない。」と言いました。

国民がこれを知る必要があると思うので言いますが、私たちがこれについて要求したところ彼らは、「そこにある3~4の村に家族がいて子供達や家族が殺されたり強姦される恐れがあるため、そこを離れることはできない」と言いました。これは最も重要なことです。しかし、ウクライナ軍は軍隊をドネツク空港のような撤退すべき地域から引き揚げていません。彼らはまだそこにいるのです。

最近の進展について御存知ですか。自衛団はドネツク空港に軍隊を送ることに成功し、そこに留め食料を与えています。これは皆さんに笑顔を与えるかも知れません。これは良い進展です。恐らく、最終的にウクライナ国民は彼ら自身で決着をつけることが出来るでしょう。誰もが戦争捕虜の交換について主張しています。それは無条件で行われるべきであると私は思います。しかし、世の中はより複雑です。捕虜のリストが入手できたとしたら、(ドネツクの自衛団の兵士が語ったところでは)ウクライナ側のリストは南東ウクライナの紛争によって捕えられた者ばかりでなく、オデッサやヘルソンで捉えられた者も含まれているものと考えられます。リストは確認されなければなりません。しかし、どんな状況にも拘らず、私はそれらの捕虜をクリスマスや新年のために家族に返すべきだと考えます。

昨日、彼らは30名の交換に同意しました。自衛団の代表が交換場所に行きましたがキエフ政府の代表は、「ミンクスにおける次の会合まで交換手続きは進めない」と言いました。そのようにも出来るでしょうが、少なくとも30人だけは開放する方が良いでしょう。まあ細かいことです。とにかく、ミンクス合意の実行も含めてこれは前向きの姿勢であり、重要で必要な手続きです。

今日か明日にビデオコンファレンスを開くことが合意されました。最初にこのビデオコンファレンスで話し合いが行われますが、次の段階はミンクスの会合で行われるべきです。

もう一つ大事なことがあります。キエフ政府は当事者の責任を果たすべきです。恩赦の

法律を適用するという合意がなされました。それについての動きが見えません。彼らは特別法認可の手続きが進んでいると説明しますが、実施されていません。それは何故かというところ、この法律はその他の法律も承認された後でなければ実現できないからです。それは軍の撤退に関するものです。それについては今のところ合意されていません。この結びつけは止めるべきです。ウクライナが平和や静寂さ、領地の保全を望むのであれば、国のある地域に住む国民は尊敬され、直接的で開かれた誠実な対話が彼らとの間で継続されなければなりません。それは圧力の無い政治的な対話でなければなりません。私は全ての者が最終的に同じ道を進むようになることを望みます。

タス通信の Veronika Romanenkova 氏：

ありがとうございます。今年は、エネルギー外交が地政学上の重要な要素になっています。ロシアの東への転向や中国やトルコとの間で署名された契約はどのように正当化されるのでしょうか。

これらの事業の全ての潜在的な危険について検証されたのでしょうか。多くの者がまだ中国との取引の収益性に疑いを持っていますし、トルコ・ストリーム（ガスパイプライン）がロシアのトルコに対する依存性を高めることを懸念しています。何かおっしゃりたいことはございますか。

プーチン大統領：

特にありません。それらは明白すぎて議論の余地はありません。私は良くロシアの東への転向についてのコメントを耳にします。米国の分析を読めば、彼らは米国の東への転向についても書いています。これは本当のことでしょうか。部分的には正しいです。これは政治的なものでしょうか。いいえ。この流れは国際経済の過程から来るものです。東方すなわちアジア太平洋地域は世界中のどの地域よりも早い経済成長を見せています。新たな可能性が開いています。エネルギーに関して言えば、中国やインド、日本、韓国で資源に対する需要が高まっています。そこでは他のどの地域よりもすべてのことが速く進展しています。私たちは私たちのチャンスを減らすべきなのでしょうか。私たちが進めているプロジェクトはずっと昔に計画されたもので、世界経済やロシア経済に最近起きた問題よりも先に計画されていました。私たちは、ただ私たちの長期計画を遂行しているだけです。

中国との契約について、それは損失を生じるものではありません。私はこれが両国にメリットをもたらすことを強調します。中国もロシアに対して利益となることを提示しています。ここで詳細については述べません。その利益とは特別なものではありません。中国政府はプロジェクトに対する一定の資本参加を決めてくれました。私たちはそれに対して同じことを行うことに賛成しました。ですから事業は疑いなく収益性があります。

さらに、私たちは価格決めの計算式についても同意しました。地域的な係数調整を除き、それは欧州との計算式とそんなに変わりません。これは通常の実務です。さらに、ロシアは事業の最初の段階で巨額のまとまった資金を受け取ります。これによって極東地域をガ

スパイプラインだけでなく、ガス運搬のグリッドに結び付けることを始めることが出来ます。これは私たちにはとても重要な事であり、次の段階に進むことを可能にします。西側と東側のパイプラインをつなげることが可能となり、国際市場の状況に合わせて、資源を迅速に移動することが可能となります。これはとても重要です。これが無ければ東シベリアや極東をガス運搬システムにつなげることが出来ません。ですからこの事業は多くの潜在的な利益を持っているのです。大規模建設が行われ仕事や税収入を生み出し、極東地域に活気をもたらします。

トルコについては、その経済もまた成長しておりアジア・太平洋地域と同様に追加のエネルギー資源を必要としています。私たちは、ブルー・ストリームと呼ばれるパイプラインを何年も前に建設しました。そして今、私たちのトルコのパートナーはトルコ市場への供給の増加を検討しています。私たちはこれを断るべきでしょうか。

私たちは彼らとの間で、価格計算式や供給スケジュール、その他の面に関する全ての重要な契約を終了しています。私たちは、彼らの要求をほぼ理解しています。そして私たちは彼らが望み私たちが持っているものを販売するつもりです。もちろん私たちはこれを行います。

トルコやギリシャとの国境においていわゆる“ヨーロッパ・ハブ”が建設されるのでしょうか。これは私たちが決めることではありません。決断の多くはヨーロッパのパートナーによります。彼らは、ロシアからの運送リスクが無い、安定して保証された究極的に透明性の高いロシアからのエネルギー供給を望むとすれば、彼らは動き始めるでしょう。そうすればギリシャを通じてマケドニアに達し、セルビアやオーストリアのバウムガーターまで届くこととなります。彼らがこれを望まなければ私たちはこれを行いません。ロシア程安く安定したエネルギー供給者は無く、近い将来も現れないということは真実です。

Ria Novosti 社の Grigory Dubovitsky 氏 :

大統領、毎日変化する市場の状況に戻りたいと思います。これは何百万人という国民の関心事です。あなたを含めた多くの専門家は、現在の状況は通貨で暴利をむさぼる者の責任である言っています。特定された会社や個人名が挙げられています。彼らの名前を教えてくださいませんか。彼らはロシア人ですかそれとも外国人ですか。何故彼らを止めることが出来ないのでしょうか。彼らが強すぎるのでしょうか。それとも私たちが弱すぎるのでしょうか。

同じことについても一つ質問があります。ロシア中銀や政府はルーブルの市場操作や引き下げを考えていますか。

プーチン大統領 :

それは、ウクライナのパートナーが行い全くうまくいかなかったことです。私たちが、外国通貨で売上代金を受け取っている企業や主要な輸出者に対してそれを売ることを強要しようとしているのかについて聞かれているのでしょうか。キエフで起きたように、彼ら

は次の日にそれを買戻すだけです。同じようなことが他の国でも起きました。

この件についての次のステップは、国内市場における外国通貨の買取りを禁止することです。私たちはそこまではしません。ロシア中銀や政府は、私の知る限りでは、この点に関して輸出者を制限することは計画していません。

しかしこれは、政府が企業の取締役会で代表者を通して活動を行うことはしないということではありません。結局、輸出者とは私たちの大規模なエネルギー企業なのです。彼らは部分的に国有であり、直接的な制限や命令を出さなくても彼らの政策に対して影響を与えることが出来るのです。

暴利を貪る者については、通貨市場で利益を得ることは犯罪ではありません。それらの市場参加者は外国人や様々なファンドであるかも知れません。彼らはロシア市場に参加してそこで非常に活発に活動しています。彼らはロシアの企業かも知れません。私がこの会合で最初に述べたように、これは市場経済で受け入れられている慣習なのです。利益を得る機会があるところに、暴利を貪る者が常に現れるのです。

彼らは盗んだり騙したりするために存在を示すようなことはしません。ロシア中銀が国の通貨を守り影響を与えるという希望の下に市場に参加し、金や外国通貨を売却することを余儀なくされた今回の事態の初期に行われたように、彼らは圧力をかけ市場に都合の良い状況を創造することによって利益を得るのです。

しかし、ロシア中銀はそうすることを止めました。そしてそれは行うべき正しいことだったのです。おそらくもっと早くより厳しい方法で行われたのであればもっと良かったかも知れません。そうすれば基準金利を 17%まで引き上げずに済んだかも知れません。しかしそれはいわゆる好みの問題です。しかし、今でも彼らは存在しています。彼らが誰であるか教えましょう。

2 日前に私は彼らのうちの数人と電話で友好的な会話を行いました。私は、「何故（外貨を売却することを）躊躇しているのか」と聞きました。別に私は彼に何かをさせようとした訳ではありません。「ローンの支払期限がすぐ来るのです」と彼は言いました。「解りました。あなたは石油が無くなったら市場に参加するのですか。」と聞きました。彼は 1 分ほど考え、「私たちは 30 億ドル持っています」と言いました。彼らは準備金に 30 億ドル保有しているのです。それは 30 コペイカ（旧ソ連の通貨）ではないのです。そしてそれはたった 1 社が保有している額なのです。

各会社が 30 億ドル持っているのであれば、総額は 3,000 億ドルにも上るでしょう。しかし、私たちは彼らに強制することはできません。国が投資を行っている会社の最高責任者であっても、将来に何が起きるのかを見越して、彼らの会社の安定を確保しなければならないのです。最終的に、政府が彼らに密接に働きかけ、ロシア中銀と一緒に、必要とされるときにはいつでも、外貨とルーブルの流動性を確保しなければならないのです。

Moskovsky Komsomolets 新聞社の Viktoria Prikhodko 氏

何ヶ所の州で、特にモスクワで、病院のベッド数が減少しています。また、職員数も減

少しています。これをどう考えれば宜しいのでしょうか。似たようなことが他の州でも起こることはありませんか。国民は改革の結果、憲法で定められた医療に対する権利が充足されていないのではないかと懸念しています。

プーチン大統領：

あなたは現在の私たちの生活における最も重要なことについて話をしています。教育と医療については、常に政府と地方政府がはっきりと把握していなければなりません。このケースはモスクワ政府です。

当然、私たちは特別な専門家のコミュニティにおいて起きていることを観察し、理解し、対応しなければなりません。このような特別なケースでは、新たな改革は医療関係者のコミュニティの代表者と協力して導入しなければなりません。もしも何らかの理由によってモスクワ政府がこの段階を飛ばしたとしたら、間違いが起きます。医療や教育のような課題について取り組む場合に、最初に私たちを導く者は誰でしょうか。私たちは、医療や教育サービスを利用する人々に導かれなければなりません。何百万人という国民が医療産業の向上を待ち望んでいるのです。私たちが最初に考えるべきは私たちの国民であり、医療サービスの利用者なのです。国民は何と言っているのでしょうか。彼らは医療に満足していません。全ての努力にも拘らずそうなのです。事態を改善させるために、何が起きており、何がなされるべきかを分析する必要があります。

私はモスクワ政府が今までに行ったことを評価しません。彼らは、彼らの権限の中で行ったのです。私たちの医療制度は費用がかかるが効率的ではありません。多くの場合、特に秋や冬に、病床が患者の治療ではなく健康増進に用いられているのです。恐らく、ベッドではなく病室が適切に設計されていないのです。

ところで、我が国においても、良い外来診療所で行われているように、医療の治療をハイテクにしなければなりません。病院で4~5日集中的な治療を受けた後、外来診療所で完治させるのです。国民が平均どのくらい病院のベッドにいるのでしょうか。それは4~5日よりずっと長いでしょう。更にモスクワ市は、ベッドの許容量は約30%過剰であると考えています。もちろんこれについて何かが行われなければなりません。何故ならば、私たちがこれを改めなければ、地代や電気代、暖房費などを私たちが払わなければならないからです。それらは非効率的な経費です。それは国民の治療に使われるのではない、ただの無駄使いなのです。資金を医療行為や病院の装備、近代的な技術を持った外来診療所の質の向上や、医療従事者の訓練に使うべきなのです。

私は今、モスクワの官庁の行動よりも、医療全体の改革について触れています。しかし、彼らが近年行ったことは概して正しいと思います。まず、彼らは医療コミュニティとの話し合いを始めました。次に彼らは医療従事者に対して追加の補助を行うことを決めました。彼らは、医療専門家に対して最大50万ルーブル、看護従事者に対して最大30万ルーブル、補助的な医療従事者に対して最大20万ルーブルの支払いを行っています。

さらに、彼らは専門家の再教育プログラムを検討しています。医者は市の費用負担で、2

～3月から2年間の向上プログラムに参加することが出来ます。もちろん、市は誰がどのような地位で働くのかを決めますが、これは医療コミュニティへの相談なしには行えません。私はモスクワ市が誰も傷つける事無く、注意深く行動することを望みます。重要なポイントは、医者ばかりでなく医療改革の重要な原則、傷つけないことを忘れないことです。

Gazeta. Ru の Natalya Galimova 氏:

クリミアの住民投票後の国会での演説であなたは、「第5列」(敵を支持するグループ)や「売国奴」という表現を使いました。誰を指すのかは明らかにされませんでした。が、「第5列」はいまでは再び政治の単語となっています。

それ以来あなたの支持者は政府に対する反対者を「第5列」に分類しています。売国奴や第5列とは誰を指すのですか。あなたの見解では「第5列」と「政敵」を区別する境界は何ですか。

最後に、社会の憎しみや差別を高めるこの言葉の再来に対して、あなたは個人的に責任を感じていますか。

プーチン大統領:

それについて私は個人的な責任は全く感じていません。私が目指していることは全てロシア社会の統合であり分断ではありません。それが起きたとあなたが考えるのであれば、私はあなたを信じますが、それがおそらく現実というものです。おそらくあなたは私よりも鋭い感覚を持っているのでしょうか。しかし、公共での演説では、私はより注意しなければなりません。それについて考えてみましょう。私たちは真実を覆い隠すことはできず、物をその名前前で呼ぶことが義務だと言われます。これはとても複雑な課題です。私は正直に言いますが、あなたの質問に答えることは簡単なことではありません。何故なら私たちはここで非常に微妙なことを話しているからです。「政敵」がどこで終わり「第5列」がどこで始まるかについて学術的な定義を行うことは非常に困難です。

ところで、今年2014年は文化の年でありました。私たちは偉大な詩人のミハイル・レールモントフの生誕周年を祝いました。私たちは皆彼の詩を憶えています。私たちは彼がボロディノの戦いについて書いたことを憶えています。「私たちの同胞が死んだように、私たちはモスクワで死ぬ。」と。一方彼はこうも書いています。「さらば、汚れたロシアよ。農奴領主の国。青い制服の憲兵。人々に服従するもの。」

彼は反政府活動家だったのでしょうか。もちろんそうでした。彼は反政府活動家でした。あなたが良く御存知のように、彼がプーシキンの死に際して「詩人の死」を書いた時にそれを読んだ親戚の一人がそれを少し和らげるように言いました。彼は激昂し、それをより厳しくとがったものにしました。最後に彼は書きました。「あなたの黒い血液は決して洗い流されません。畏敬すべき詩人の血は。」

彼は明らかに政府に反対していました。しかし彼はまた愛国者でもありました。これもまた微妙な境界です。結局彼は軍人であり、そして、とても勇敢で勇気のある軍人でした。

国の利益のために戦火に飛び込むことも恐れませんでした。ところで、最新のニキータ・ミハルコフの映画ではそのような軍人が、論理的な目的＝革命のために努力をしますが、最後に革命家たちによって殺されます。もしも彼らに 2 度目のチャンスがあったとしたら、彼らが行ったロシア国家の破壊をもたらすようなことは行わなかったでしょう。

結局、反政府運動家を「第 5 列」から区別する境界を外から知ることは困難なのです。反政府活動家は非難においてとても厳しいかも知れませんが、最終的に祖国の利益を守るのです。そして「第 5 列」とは他国の利益に遣えるものであり、他国の政治的な目的の道具にすぎないのです。

IGUMO の Otkrytka 学生新聞の Polina Danilova 氏 :

今年、私たちの機関は「才能のある子どもプログラム」に参加しました。私たちはロシア地域にいる才能ある子供を探し出して支援するためのオンラインのプラットフォームを築きました。これは愛国心や国家に対する義務の意識や、専門家意識の育成に役立ちます。これは商業的なものではなく社会的なプログラムであり、若者によって若者のために実施されるということが重要です。ここで私の質問です。これらの社会的なプログラムは連邦政府の補助を受けられるのでしょうか。プーチン大統領、あなたは個人的に私たちの発案を支持して頂けますか。私たちはあなたの助けや援助を必要としています。今までの回答、ありがとうございます。IGUMO に一度いらしてください。きっと気に入って頂けると思います。

プーチン大統領 :

それをどのように実行しようとしているのですか。

Polina Danilova 氏 :

私たちはポータルサイトを試験的に立ち上げました。2 月にこれは公開されます。これは子供が専門的議論をすることが出来る専門家のオンラインによる意見交換の場です。

プーチン大統領 :

彼らはそこで交流出来るわけですね。あなた方は何をしていますか。

Polina Danilova 氏 :

そこには 25 のカテゴリーがあります。彼らはそこから彼らの好むもの、関心のあるものを選ぶことが出来ます。彼らは意見を交換し、共有し、彼らが参加することの出来るコンテストについて知ることが出来ます。

プーチン大統領 :

解りました、これはとても良い大切な発案ですね。成功すると良いですね。もちろん、

私たちはあなたのもものも含めて最大限、プロジェクトを支援するつもりです。私は、同僚に何がどこで行われどのように支援することが出来るのかについて情報を集めるように要請します。

御存知のように、私は最近、連邦議会における演説で、才能のある子どもや、大学に入学した卒業生に対する奨学金や、大学を卒業するまで政府によって支払われる追加の奨学金の実現について話しました。私が個人的に行えることについて、良いことを教えましょう。それは冬季オリンピックの後に私が始めた、イメレチ谷の子供たちのための永続的なトレーニングセンターという小さなプロジェクトに関することです。このプロジェクトは開始されました。スポーツ省の大臣がこれを聞いていると思いますが、これを聞き逃さないで頂きたいです。私はこのプロジェクトを変えたいのです。私はこの黒海に面した大規模なセンターを変えたいのです。最初に、これは非政府のプロジェクトであるべきです。次に、国のスポーツ学校から連れてくるもの他に2つの部門も連れてきて欲しいのです。国の数学・物理学校と音楽学校の子供たちも追加して欲しいのです。この子供のセンターは、スポーツと音楽、数学の3つの部門から成ります。最近200名の子供が国の各地から集まり、21日間滞在しました。同様のことが音楽学校や科学、数学学校の子供達にも適用されるべきです。これは私たちや専門家が、最も才能のある子どもを選択し、彼らを見守り、ほぼマンツーマンで教え、彼らが大学やその後の人生での自分探しを助けます。私たちはこの方向で動きます。ありがとうございました。

Life News の Alexander Yunashev 氏 :

1年前、あなたはホドルコフスキーに恩赦を与えました。彼はあなたに政治に関与しないことを約束しました。今日彼は大統領についての野心を明らかにしています。あなたは後悔していますか。

プーチン大統領 :

彼はどこの大統領選挙に出るといいますか。(笑い)

Alexander Yunashev 氏 :

私の次の質問はこれです。彼は政敵ですか、それとも彼は敵であり同時に愛国者ですか。どう考えになりますか。

プーチン大統領 :

ホドルコフスキーは恩赦を求め、少なくとも嘆願書を送り政治には全く関心が無いように見えました。私が彼の恩赦を判断した際、私は彼が何ができ、何ができないか、あるいは、彼が政治に関わるかどうかという点からは始めませんでした。それは彼の選択であり、彼が国の最高の地位を含む必要な地位を望んでいるとしても、他のロシア国民と同様それを行う権利を有しています。神が彼を保護するのであれば彼にやらせましょう。私は私の

判断を人道的な配慮から行いました。彼は手紙の中で彼の母親が重体であると言いました。母親は神聖です。私は皮肉屋ではありません。そして彼は彼の刑期をほとんど終えていたのです。彼の母親に最後の言葉をかけられない恐れがあるのに彼をそこに留めることが正しいことでしょうか。これが全てです。彼は手紙で同じようなことを言いました。私は何の後悔もしていませんし、正しいことをしたと思っています。

Channel One の Pavel Pchyolkin 氏 :

プーチン大統領、私の質問は、オリンピック競技やスポーツや政治に関することです。オリンピック競技や組織や競技者の成績は、今年の中で最も目を引く出来事でありました。結局、私たちは巨大なインフラを建設し、巨額の投資を行い、この国がこの規模のプロジェクトを行えることを示したのです。

ウクライナの悲劇のために、ロシアはオリンピック競技から利益を得る機会を逃したとは思われませんか。

もう一つ質問があります。私たちは今、2018年のFIFAワールドカップ主催の準備をしています。これは多くの投資を必要とする非常に費用のかかるイベントです。制裁の発動や油価下落、ルーブル下落という中で、ロシアはワールドカップを主催する能力があるのでしょうか。

プーチン大統領 :

最初にオリンピックについて話をします。私は、私たちがオリンピック競技の主催や準備において望んでいたことは全て達成できたと考えます。私たちはそれについて想像していた以上のことが出来ました。私たちはオリンピック競技で勝利を修めました。これについてはオリンピックやパラオリンピックの競技者達に特別感謝いたします。彼らは真のヒーローです。

ウクライナについては、悲劇的な事件が起こり始めた時に競技が終了しようとしていたことは事実です。しかし、それは私たちの責任ではありません。私たちがクーデターを始めたのではないのです。それは私たちに全く関係ありませんでした。私はそれが起こることを望みませんでした。起きてしまいました。

私たちがオリンピックに満足したかと言えば、もちろん満足しました。これは施設がどうなったということから理解できます。皆さんが御存知のように、多くの国ではオリンピック施設は、競技終了後には活用されません。全く使われません。シーズン以外の期間に私たちの施設もほとんど利用されません。

しかし、私たちは事前に努力することを計画し、フォーミュラ 1 のレース場をそこに造りました。オリンピックパークでは世界チェス選手権やその他のイベントが開催されます。施設は12月から2月の終わりまですべて予約されています。アルペンスキーのシーズンが終了するまで彼らは多忙です。全体的にこれは何を意味するのでしょうか。それは、ロシアが、冬と夏の両方に亘り健康やレクリエーションのための通年のセンターを保有するよ

うになったことを意味するのです

これに加え、私たちはボブスレーや他の競技の選手権の開催を継続していきます。他の回答で私は子供のスポーツを発展させていくことを述べました。今ではソチに子供のアイスホッケーチームがあります。それは偉大なチームです。負けることも有りますが若いチームであり、時には勝ちます。チームには熱心なファンがいます。私はクラスノダールの首長が私に、「私たちにはチームは不要です。私たちにはホッケーの文化がありません。私たちはサッカーを望んでいます。ホッケーには誰も興味を示さないでしょう。」と言ったことを憶えています。私は最近、1か月前に競技場を訪れました。何千人という観客がいて満員でした。私はファンに感謝します。一般に、アイスホッケーのファンは非常に洗練されています。彼らは子供達や妻や家族全員で来ます。素晴らしいことです。施設はより充実されていくでしょう。

ワールドカップについては、それにお金がかかることは事実です。しかし、大規模な選手権の開催を拒絶する多くの国と、私たちがどこで異なっているのか御存知ですか。彼らは運動やスポーツを行っている割合が、ロシアよりもはるかに高いのです。

どうしてでしょうか。その一因はスポーツ施設整備が遅れているためです。国民に健康になって、酒屋に行くよりもスケートリンクに行くようになることを望むのであれば、スケートリンク施設が必要なのです。私たちは新たなサッカー競技場やホッケーリンク、フィットネスセンターを整備する必要があります。重要なことは、国民が友人とパーティーを行うよりもジムの会員費にお金を費やすべきであるということです。私たちは国民が体育やスポーツを行う文化を創造する必要があります。そうすれば70~71歳という現在のロシアの平均余命を延ばすことが出来るでしょう。

この観点から、私たちはワールドカップのようなイベントを開催する必要があります。サッカーを行う子供の数は飛躍的に増加します。特にこの施設はソチだけでなく、ロシアの10以上の都市でも、交通インフラや医療システムなどとの組み合わせで開発される予定です。これはロシアにおける投資の1つの手法であり、資金が上手に使われる事でしょう。

Dozhd テレビ局の **Ksenia Sobchak** 氏 :

私は2つ質問があります。最初に誰もがウクライナの展開に注目している間に、チェチェン共和国でも事件が起こっており、心配しております。例えば、チェチェン共和国の元首の **Ramzan Kadyrov** 氏は、ロシアの法律や憲法はチェチェン共和国では適用されないという事実上の宣言を行いました。彼は公に、まだ法廷で有罪とされていないテロリストの親族に対する報復について述べました。これに関係して、私はあなたに答えて頂きたいのですが、憲法の弁護者、庇護者として、裁判前の報復に対して脆弱な状況にある者を保護しますか。彼らの家は焼かれ、チェチェンにある唯一の人権機関は捜査対象であり、火までつけられているのです。これについてどうお考えでしょうか。

プーチン大統領：

(Dmitry Perkov に対して) どうして彼女に発言させたのですか。

Dmitry Perkov：

申し訳ありません。

Ksenia Sobchak 氏：

2 番目の質問をしても宜しいでしょうか。

Dmitry Perkov：

他の人に配慮して、質問は1つにしてください。

プーチン大統領：

解りました。すでに発言を与えられていますから、続けて次の質問を行ってください。何でしょうか。

Ksenia Sobchak 氏：

私は、私自身と参加者のために「第 5 列」と政敵の境界についてはっきりさせたいと思います。レールモントフについては明白になりました。しかし、現存のことから導き出すのも良いと思います。プーチン大統領、かつてあなたは私の父に対する嫌がらせキャンペーンがあったことを公に発言されました。私は今、「嫌がらせ」という言葉が再び私の人生に戻ってきたように思います。

私は、マカレビッチに対する嫌がらせ、臨時政府の友人の招聘に対する批判（私はこれらの人々が真に彼らの国に対する愛国者だと確信しています）や、連邦の放送で聞かれる悪口だけに言及しているのではありません。連邦の放送は、ロシア社会に扇動の悪意を送り込んでいるように感じます。国が統括している連邦の局で最初に報道されたスラビンスクから来た少年に対する虐待についてのエピソードを例にとります。このエピソードは後に造りものであることが判明しましたが、誰もそれについて謝罪しませんでした。ある人々がひどく虐待されるような社会に存在する憎悪が気になりませんか。そのような憎悪を減らすために何をなさろうとしているのですか。あなたはまだ、あなたの味方とバンデルの売国奴とに分裂していると考えているのでしょうか。

プーチン大統領：

バンデルの売国奴は存在します。私ではなく、キープリングが言っているのですが。最初の質問から答えましょう。

私はカディロブがテロリストの親族や、彼らの家、彼らを共和国から追い出すことなどについて述べます。当然、私にはただ一つの見解しかありません。ロシアでは誰もが現存

する法律に従わなければならない、法廷で裁かれるまで有罪とされる者はいません。これが最初の点です。

次に、私がすでに申し上げたように世の中は複雑です。私は対テロ部隊における実務経験から述べます。常にとは言いませんが一般に、大部分のケースにおいて、テロを起こした者の親族はそれについて知っています。しかし、これはチェチェンの元首も含めた誰にも、非合法的な報復を行うことを許すものではありません。これについてはあなたに全く賛成です。

さらに、関連する警察の職員が今、これについて初動捜査を行っています。彼らはマスクを付けていたので、誰が家を燃やしてテロリストの親族を殺したのかを探し出すことが必要です。

カディロブの発言については、それは単に非常に感情的なものであり、それに捕らわれたのでしょうか。このテロによって警官が 14 人も殺されたことから、私は、この感情がよく解ります。これは交通警官の殺害から始まりました。これは銃撃戦ではありません。これらの警官は残酷にも至近距離から撃たれ、そして死んだのです。14 人が殺され、38 人が怪我をしました。そのうち何人かは重傷でした。

御存知のように、何千人もの人が抗議のために道に出ました。このような状況下、共和国の元首が感情的な発言を行ったのです。

これらの意見が国民の期待に沿ったものであったことは確実です。しかし彼にはそれを言う権利はありませんでした。事実を明らかにすることは全く正しいことです。繰り返しますが、国民の関心や住民の家を破壊する行動を含めた関連する行動は別にして、何が本当に起きたのかをはっきりさせるための証拠が必要です。誰かがこの機会を利用してこれを行ったのです。違うかも知れませんが、その後で警察が適切に対応すべきです。

一方、幸か不幸か、似たようなことが国際的な対テロ対策で行われています。それはイスラエルで最も活発に行われています。しかし、それだけではありません。イスラエルだけのことではないのです。9 月 11 日の事件の後、米国では拷問が合法化されました。これはどのように説明すればよろしいのでしょうか。更に、合法化されたばかりでなく、拷問の方法も開発されたのです。世の中は複雑で多様です。しかし、私たちは法には従わなければなりません。その点では私はあなたに賛成です。私たちが法から外れたら、それは無秩序な状態を招くだけです。私たちは事実を捜査し適切に対応しなければなりません。

さて、あなたが言った、嫌がらせキャンペーンについてですが、それについては今、モスクワに来てから知ったところです。それよりも以前にあなたの父親に対する迫害が企画されたという疑いを持っていました。しかし、私がモスクワに来た時に、私はそれについての直接的な証拠を見つけました。アナトニー・ソブチェックが 100 平米の住居を取得した後 1 週間内に、彼に対する起訴が 2 件あったということは、私にとっても奇妙な事でした。犯罪に対する法廷は何カ月も行われませんが、週に 2 つも行われたのです。犯罪の起訴は、選挙期間中にレニングラードで飛行機からキャンペーンのビラがまかれたということも含まれています。もちろん、これは明白に組織化されたキャンペーンであり、彼に反

対する政府関係者によって行われたものです。私は、ウクライナやクリミアに関する私たちの行動に反対したり、その他の国内の政治的に反対するものに対してどのような組織的な迫害も行われていないことを保証します。どのような政府機関も政府職員もそのようなことは行っていません。

この対応に賛同しない国民から何らかの反対があったとしたら、これに現在直面している国民は、告訴を取り消す権利を独占することはできないし、彼らの姿勢に反対する国民もいることや、彼ら自身もまた告訴される可能性があることを理解すべきです。これに対する適切な対応を学ぶことが大事です。抗議したり、屋上から「私は迫害されている。」と叫ぶことも大切です。対応は、国民側からも行われるのです。

政府機関については、繰り返しますが今までもこれから、誰かを非難するような試みや指令や取り組みは行われません。これは私たちの欧州のパートナーによって行われる方法です。例えばガズマノフやヴァレリア、ロシフ・コブゾン、ラトビアの外務省によってラトビア共和国への入国を禁止されました。これは政府の公式の姿勢の一例です。ロシア政府は今までも、これから、決してそのようなスタンスはとりません。

ロイター通信社の Alexei Anishchyuk 氏：

昨年、ロシアは近代史における最も重大な危機とも言えるものに巻き込まれました。それは 2013 年の終わりに、西側との関係悪化に続いてウクライナで始まり、「冷戦」を思い起こさせるものであり、最近では金融や経済の危機をもたらす厳しい通貨危機を引き起こしています。ここにリスクが存在しているのです。私は、あなたが全てについて外部の影響を非難する傾向にあると思います。一方、ロシアのことを最もよく知っている、あなたの側近のロシアのエリートの中にも、彼らの公式の発言にも拘らず、15 年間ロシアの全ての重要な決断を行った人物であるあなたの責任とする傾向があります。

プーチン大統領：

それは誰ですか。

Alexei Anishchyuk 氏：

残念ながらそれをあなたに教えるわけにはいきません。彼らは匿名で話すのです。しかし、最近そのような発言がレポーターとの会話の中で聞かれます。

私の質問です。あなたの側近の無条件の支持について、あなたはどれ程信用しているのでしょうか。あなたはクーデターや無血革命のリスクを何か感じていますか。あなたは何度も、「オレンジ革命」や「赤の革命」が起きた場合に何を行うかについて語っています。あなたは、側近の裏切りや無血革命 (Palace Coup) に対する対策をお持ちでしょうか。

プーチン大統領：

無血革命については、私たちには「宮殿」が無いので実現不能です。公式の大統領の住

居はクレムリンでそれは強固に防御されています。それはロシア国家の安定性を保つために重要な要素です。

しかし、安定とはそれだけではありません。ロシア国民からの支持ほど堅固なものはありません。私たちの重要な外交政策や国内政策がそのような支持から恩恵を受けていることについては、あなたにも疑いのないことだと思います。

どうしてそうなのでしょう。何故ならば、国民は深いところで私たち、とりわけ私がロシア国民の圧倒的多数の利益のために活動していると感じているからです。

私たちが今それに対して奮闘しているウクライナにおける一連の大変動を引き起こした展開に対して、誰に責任があり、誰がそうで無いかという質問について私がどう考えているのか、あなたは良く御存知ですね。私は多くの機会に、クーデターが行われたがそれは大きな間違いであったと言ってきました。東欧や、ウクライナを含む私たちの隣国は、特別な手法、すなわち軍隊や政府の政策に満足していない国民を用いてクーデターを行う、バナナ共和国でも西アフリカでもソマリアでもありません。あなたは私が誰かを非難していると言いましたが、私は誰かを非難しているのではなく、ただ事実を述べているのです。

詳細については触れませんが、私はここで、この説明について私のパートナーとの間で行われた議論について少し述べます。あなたは2月21日にウクライナ政府とその政敵の間で結ばれた合意書について覚えていますか。それにはドイツとポーランドとフランスの外務大臣が合意書の保証人として署名しています。私たちは、「ヤヌコヴィッチはどんな場合も権力を用いるべきでない」と言い続ける米国の大統領と話し合いを行いました。ヤヌコヴィッチは強権を発動しませんでした。クーデターを起こされました。私たちは、「私たちに何が出来ましたか。状況は制御不能で、刑法では過剰対応と呼ばれるものでした。」と説明されています。私は違うと思います。もしもそれが過剰対応であったのであれば、あなたが大統領府に乗り込み、政府の建物を占領した過激派に対して何もできなかったとしても、あなたは何とすべきだったのでしょうか。あなたは、こう言うべきでした。「私はあなた達とヨーロッパで会い、協定書に署名し批准することを望みます。あなたはヨーロッパのファミリーの一員ですが、このようなやり方をするのであれば、あなたは決してヨーロッパの一部には成れないでしょうし、私たちもあなたを支持しません。2月21日の協定書に戻り、連立政府を作り、一緒に働きましょう。」と。

もしもそれが彼らの姿勢であったのなら、多くの犠牲者を生んだウクライナの内戦は起こらなかったでしょう。彼らは異なったスタンスをとりました。メイダンの抗議集会の時から、彼らは政治的、経済的な約束に飛びつきました。ところで、ウクライナ国民は資金を必要としていますが、自分自身でこれを解決しようとする者はおらず、国際的な金融機関を通してこれを得ようとしてきました。以上より、私は、私たちの姿勢は完全に正当化されるものであり、最初の日から客観的なものであったと信じています。

次にエリートについてです。優れたワインや優れたリゾート地はありますが、エリートの間には人間はいないのです。ロシアのエリートとは誰か御存知ですか。それは労働者や農民です。彼らこそが国家を肩に負い、何世紀もそれを支え、これから何世紀もそれを支えています。

くのです。エリートやそれ以外を含み、その他の階級は完全に何の根拠もないものです。富んだ者もいれば貧しい者もいます。病気の人もいれば健康な人もいます。しかし、誰もが皆国家や法律の前では平等なのです。金持ちの愛国者もいます。それが可能かとあなたは思われるかも知れません。不幸な者もいるでしょう。彼らは何について幸福と感じるのでしょうか。彼らは不満を抱えています。しかし問いは、常に誰かに依存し寄りかかっていた彼らが、どうやってこの状況から脱しようとしているのかということです。

海外の島で設立された会社の1つが配当についての決議を行いました。それは海外地域で活動する合法な大規模の会社です。決議が行われた後で何が起きたと思いますか。そこには制裁の対象となった人たちがいました。地域の所長が本社に配当金を送れず、協議しないとイケないと言ってきました。「誰に相談するのだ。支払いを行わなければならない。これは定められたことなのだ。」と。彼らが言ったことは正しかったのですが、所長は取り決めに従いませんでした。「それはひどい。法廷に訴える。」と言われた時に彼らは何をしたと思いますか。彼らは退職してしまったのです。彼らは退職し、彼らの署名無しには送金が行えなくなりました。さらに欠員をうめてはイケないという通達が行われていたために、それらの職位に誰もつけることはできませんでした。資金は宙に浮いたままです。

ロシアの実業界の代表たちはこのようなやり方を望むでしょうか。彼らのほとんどは望まないでしょう。力のあるロシア国家だけが、ロシア国民が何を行おうと、彼らの利益を守ることが出来るのです。

Business FM の Mikhail Bazhenov 氏 :

プーチン大統領、連邦議会に対する年次演説で、あなたは、資金についての恩赦の計画があるとされました。1週間経ちましたが、詳細については聞かれません。少し詳細について尋ねたいと思います。恩赦はいつ始まりいつまで続けられるのですか。そしていくらからいがロシアに還元されると見込んでいますか。そして最も重要な点ですが、どうやってこの恩赦を思いついたのですか。非合法の資金を含めて、全ての資金が還元されるのでしょうか。それとも、恐らく何らかの審査手続きが行われるのでしょうか。そして実業界は審査という考えにどのように反応するのでしょうか。彼らはこの審査に通ってロシアで会社を登記し、静かにビジネスを続けることが出来ると考えているのでしょうか。長い目で見て、ロシアでビジネスを行った後に、彼らが警察や税務署からのどのような質問に対しても答える必要が無いということについて、彼らはどのような保証を与えられるのでしょうか。

プーチン大統領 :

解りました。どれだけの資金が戻ってくると予想しているのかについては、私たちは資金の還元について何の目標も立てていません。資金の還元が主目的ではないのです。それは財政のことではなく、登記のことなのです。会社が海外の資金や資産を保持したいのであればそれは彼らの自由です。これは登記に関することで、彼らがここにきてここで登記

出来るようにするためのものです。これはとても重要なことです。これをはっきりさせておきたいと思います。

次に、私は個人的にこのメカニズムや保証に関して法の侵害は全くないと考えています。そして私は警察を含む全ての同僚に対して、私が今述べた原則を破る者に対しては過酷な対応を行うと警告します。

審査については、私は何の審査手続きもないと考えています。ここに来ることを望む者は誰でも登記を行い法的に認められる権利を有します。私は幾度も、刑法に関しては無罪推定があると言っています。そして反証が無い限り全ては合法と見做されるのです。

最後に、私はメカニズムについて少し話します。このメカニズムは今のところ機能していません。私たちはこれについて考える必要があります。政府は今これについて動いています。私は海外の資産ばかりでなく、国内でダミー会社や親族やその他の手段で隠匿されている資産も合法化すべきだと考えています。誰もがその資産を今回限りで公にして、次に進むべきです。

Arctic TV Network の Yevstoliya Taranda 氏 :

私はヤマル州を代表します。多くの国民があなたに関心を持ち支援の声をかけています。私は私の州について質問があります。住民はヤマルとユグラの首長はもう選ばれないのではないかと心配しています。ヤマルとユグラ、チュメン州が統合される計画があるのでしょうか。あなたは私たちの州に複数回訪問されており、私たちの状況や特性、私たちが、その実施を望んでいないことを御存知だと思います。これについてどのようにお考えですか。カザフタンから北極海に到る一つの広大な連邦の州が生まれるのでしょうか。

プーチン大統領 :

連邦の州について話します。統合やその他の関連することについてです。統合はそこに住む住民の自由な要求に基づいてのみ行われるという連邦の法律があります。これは州によって異なった方法で行われます。住民投票に拠る場合もあれば、立法議会に拠る場合もあります。決定において上の方から住民に対して強制することはできません。それは逆効果です。さらに、誰もが御存知のように、私たちの生産力は国内で非常に偏在しています。その結果ある州の歳入は他の州の歳入と大きく異なり 26 倍かそれ以上になっています。そして医療や教育、その他を含む生活水準も州に拠って大きく異なっており、良くないことです。

しかし、特に民族的共和国においては、これは非常に微妙な問題であり、私たちは住民に画一な計画を示すことはできないと申し上げます。住民自身だけが彼らの生活経験や経済や社会面の発展についての理解に基づいて正しい決断を行うことが出来るのです。

もちろん何らかの統一推進の政治力や反統一の政治力があります。これらは出来るだけオープンに行われるべきです。決定は上から強要されるべきではありません。

BBC の John Simpson 氏 :

ほとんど全ての西側諸国は、今では新たな冷戦が存在し、あなたがそれを作ることを決めたと信じています。私たちはほとんど毎日、ロシアの軍用機が西側の領空で非常に危険な演習を行っていることを知っています。これはあなたの指令によるものに違いありません。あなたは最高司令官なのです。ロシアの軍隊を独立した国の領土に、最初はクリミアに、そしてさらに東ウクライナまで送ったのはあなたの指令によるものに違いありません。今、あなたはロシアの通貨について大きな問題を抱えており、国外、特に西側からの支援や理解、助けを必要とすることになるでしょう。どうかこの機会に西側諸国の人々に対して、あなたが新たな冷戦を求める意思はないことや、ウクライナの問題を解決するために何でも行うということを書いて頂けませんか。

プーチン大統領 :

私たちの軍事演習や軍備強化についての質問をありがとうございます。あなたはロシアがある程度、現在、世界で見られる緊張に加担しているとおっしゃいました。ロシアは緊張に加担しているのではなく、自身の国益を厳しく守っているのにすぎません。私たちは政治的な言葉で言う攻撃は行っていません。私たちは誰も攻撃していません。私たちはただ自国の利益を守っているのです。私たちの西側のパートナーは、特に米国は、私たちが緊張を生み出す安全保障に関連した活動を行うよりも、そうすることに不満なのです。

説明します。私たちの戦略的な演習を含めて軍用機について話されましたね。1990年代の初めにロシアは、かつてソ連が行っていた離れた監視区域での戦略的な飛行を完全に止めたことを御存知ですか。私たちは完全に止めたのに、米国は核兵器を搭載した戦略的な軍用機の飛行を止めませんでした。何故でしょうか。誰に対してでしょうか。誰が脅威だったのでしょうか。

私たちは何年も飛行を止め、ほんの数年前にそれを再開しました。それでも私たちは挑発しているのでしょうか。

実際、私たちはロシアの外には 2 つの基地しか保有していません。そしてそれらはテロリストの活動が活発な地域なのです。1 つはキルギスタンで、キルギス政府のアカエフ大統領の要請で駐屯し、後にアフガン軍に襲撃されました。もう一つはタジキスタンで、これもアフガニスタンと国境を接しています。私は、あなたもその平和と安定に興味があると思います。

現在、米国の基地は世界中に展開しています。あなたはロシアが積極的に活動していると言いましたが、常識というものをお持ちですか。米軍がヨーロッパで何をしているのでしょうか。そして戦略核兵器で何をしようとしているのでしょうか。

ロシアは、2015 年に軍事支出を増やします。それは約 500 億ドルです。ペンタゴンの予算はその 10 倍以上の 5,750 億ドルです。それでもあなたは、ロシアが積極戦略を採っているといます。そこに常識はあるのでしょうか。

私たちは軍事力を米国やその他の国の国境に動かしているのでしょうか。誰が NATO の

基地やその他の軍備を私たちの方に動かしているのでしょうか。私たちではありません。私たちのことを聞く者はいたのでしょうか。それについて私たちと話し合おうとしたものはいたのでしょうか。いいえ、対話はまったくありませんでした。私たちが聞いたのはただ、「それはあなたに関係ないことだ。どの国にも自国の安全保障を確立するためにそのやり方を選ぶ権利があるのだ。」ということでした。解りました。でも私たちにもまたそうした権利があります。どうして私たちにはできないのでしょうか。

最後に、私が連邦議会の演説で述べた ABM システムについてです。誰が最初に世界の安全保障の要石である ABM 条約から一方的に抜けたのでしょうか。それはロシアでしたか。いいえ。それは米国です。一方的でした。彼らは私たちに対する脅威を作り、アラスカばかりでなく私たちのすぐそばのルーマニアやポーランドなどのヨーロッパで戦略的ミサイル防衛システムを展開したのです。しかし、あなたはロシアが積極政策を追求していると言いました。

あなたの質問が、私たちが法律に基づいた関係を望んでいるかということであれば答えは是です。ただし、それは私たちの国の経済や安全保障が完全に尊重された場合のみです。

私たちは堅固な契約を結ぶことが出来ると信じて、WTO への加盟について 19 年間協議し、多くのことに妥協してきました。私は誰が正しくて誰が間違っているということはありません（私はすでに多くの機会に、私がウクライナ危機においてロシアが正しいことを行い、西側が間違っていると考えていると言いましたが、ここではこれは横に置いておきましょう）。私たちは WTO に参加しました。この機関には規則があります。しかし、WTO の規則や国際法や国連憲章を侵害して、ロシアに対して一方的に非合法に制裁が行われました。私たちはまた過ちを犯したのでしょうか。

私たちは安全保障面やテロとの戦いにおいて正常な関係を発展させたいのです。私たちは核の不拡散について協力できます。私たちは麻薬や組織的犯罪、エボラのような重大な伝染病などのその他の脅威について協力できます。私たちはこれら全てに協力できます。そして私たちのパートナーが望むのであれば私たちは経済面でも協力出来るのです。

カザフスタンの Mir TV Company の Saida Zharkina 氏 :

私の質問は統合についてです。2015 年 1 月 1 日からユーラシア経済同盟は完全に実施されることとなり、ロシア、ベラルーシ、カザフスタンの 3 国にアルメニアとキルギスが加わります。私たちの経済に対して、最近の危機に関して心配の種はありますか。共通の市場が共通の危機に変わるとは思われませんか。

プーチン大統領 :

カザフスタンはロシアと同様に、ガスと石油の生産国であり、EU の統合に関係なく、為替市場で好ましくないシナリオに直面しています。私たちはこの状況を制御出来るのでしょうか。私はすでに述べたように、世界経済の成長や、私たちが保有し今後も保有するエネルギー資源に対する需要、そして私たちの経済のエネルギー資源の低価格に対する適合に

よって、私たちは必然的に前向きの結果と共に抜け出すと考えています。

しばらく前に行われたナザルバエフ大統領の提案の中心にあるものは何なのでしょう。私たちはそれを成功裏に実施しています。統合については、商品や労働、資本の移動のための自由空間を造ることにより、一緒に行い易くなります。もちろん協力すればより平易になります。更に関税同盟を拡大することにより、最近私たちの貿易量は 50%も伸びました。これは重要な客観的指標であり、私たちは統合に関係するはっきりした実績を頼りにしています。

ヴォルゴグラードの *Krestyanskaya Zhizn* 新聞の Svetlana Samsonova 氏：

私の質問は、農業の発展についてです。これは人的資源の課題の解決なしにはできないことです。一例を挙げましょう。ヴォルゴグラード州にミハエル・ロストフという農民がいます。彼のために働いていた者が引退した後で、彼は長い間代りを見つけることができませんでした。ロストフ氏は、農業の基準で適切な給与と住居と食事を提供しようとしたのですが、誰も興味を示しませんでした。これは他の農民も、特に野菜作りの農民が直面している問題です。誰も過酷な労働を望まず、農民は例えば来年農地で働く者がほとんどいなくなってしまうことを恐れています。農民はこの労働力の問題が国の食糧安全保障に対する脅威になると考えています。賛成されますか。これについて何ができるのでしょうか。農業部門における人材の問題はどのように解決されるのでしょうか。

プーチン大統領：

言うまでもなく、私は現在の環境下における労働の困難さに対する農業生産者の懸念を共有しています。しかし、一方、私は国内市場で余分なものが排除されることによって農業工業の発展という重要な機会が生まれるということを感じる楽観も共有せずにはられません。

人材については、私たちは事前にこれについて考えるべきでしょう。国はこれに取り組んでいます。私は、中級から高度な技能を有する労働者の育成について述べています。私たちは皆この機会を活用すべきです。私たちには農家を育てる素晴らしい総合大学や職業学校があります。私たちの農業学会は、大きな学会の一つとなりました。私はそれが積極的なシナジー効果をこのロシア経済にとって重要な農業部門にもたらすことを望みます。他の事とは離れて（私たちはこれについて昨日首相と話し合いました）政府は約 200 億ルーブルを農業工業に追加することを決めました。従って来年の農業に対する支援は約 2,000 億ルーブルにのぼります。農家がこれを認識してくれることを望みます。

1.04 億トンという記録的な生産物の販売によって得られる資金が、中間に介在する者でなく農業生産者に届くことは、私たちにとって言うまでもなく重要なことです。

人材については、しばらくは雇うしかないでしょう。食料品の値段は客観的にまだ上がっています。消費者にとっては良くないことですが、これは農業生産者にとっては良い機会です。私は誰もがこれを活用することを望みます。

ヴォロネス州の Guberniya テレビ局の Alyona Yevtyakova 氏：

大統領、私の州は、住宅の発注でトップテンになっています。住宅ローンを用いて住宅を購入する比率は 60%まで上昇しました。現在の経済状況を勘案して、住宅ローンや貸付や若い家族プログラムに何が起きると思いますか。

もう一つ質問させてください。ここに来る前に私は叔母の友達にどんな質問を行うのか尋ねられました。プーチン大統領、あなたはロシアの NO.1 の花婿候補です。1年以上独身でした。個人的な時間があるのでしょうか。

プーチン大統領：

あなたの叔母さんの友達に宜しくお伝えください。ご配慮いただきましてありがとうございます。

住宅ローンについては、これは重大な問題です。これは非常に重大な問題です。ロシア中銀の基準金利は 17%で、住宅ローンを提供するのは困難です。

過去数年間の住宅ローン利用は私たちが予想していたよりも高い率で成長しました。金利は、最初は 9.5%位でした。それが 10%になりましたが、人々は利用していました。更に今年、ロシア中銀の基準金利は最初の 5.5%から引き上げられました。しかし住宅ローン市場は縮小しませんでした。不思議なことに民間銀行は住宅ローン金利の引き上げを行わなかったのです。今、銀行が金利の見直しを急いで行わないことを望みます。

何故でしょうか。何故ならそれは国民や、住宅供給に関する私たちの社会的な約束を果たすこと、経済にとって重要だからです。住宅ローンの約 30~35%は直接建設産業に支払われ、その他の産業に対して高い乗数効果をもたらすのです。

しばらくの間、金利がこの水準で留まるのであれば、政府やロシア中銀は住宅ローン市場を支えるために、特別なカテゴリーの人（例えば若い教師や研究者、若い家族、軍人など）に対する特別な金利や、一般的な貸家を含めた特別な手段を講じる必要があることは疑いのないことです。

私たちにどのようなオプションがあるのでしょうか。実際、いくつかあります。しかしそれは一言に集約できます。“補助金”です。私たちが提供出来るものは他にはありません。これは国民や経済にとってとても重要な分野です。私たちはそれを保護しなければなりません、私はそれが出来ると思います。

何故私に自信があるのでしょうか。私たちがすでに述べたように、基準金利の引き上げはマクロ経済の安定性を確保するために行われました。これは行われるべきことでした。何故ならば、マクロ経済の安定性を確保することにより健全な経済を保つことが出来るからです。この理由によって私は遅かれ早かれ健全な経済が前向きの方に復活することについて楽観的なのです。

御存知のように基準金利を引き上げる一方でロシア中銀は、中小企業に対する貸出金利を 6.5%に、その他のプロジェクトファイナンスなどに対する貸出金利を 9%に据え置きました。課題は政府がこれから関連するプロジェクトを提案しなければならないということ

ですが、そのようにして実現していくのです。

このメカニズムがどのように働いていくのかについて、あなたや実業界に説明致します。皆さんに健全で経済的に実行可能で、利益性があり、持続可能なプロジェクトがあれば、それを民間銀行に示すことが出来ます。銀行はそのプロジェクトが本当に効率的で実行可能であることについて政府委員会の承認を得ることにより、ロシア中銀から 6.5%か 9%の金利で必要な資金を受け取ることが出来ます。これが中小企業やプロジェクトファイナンスに廻ります。住宅ローン市場に対しても類似のスキームが作られます。

あなたの叔母さんに対してはすでにお礼を述べました。すべてがうまく行っていますのでどうぞ心配なさないで下さい。(笑い) 私は最近ヨーロッパからの友人と会いました。彼はそこでは大物です。それは昨年のことです。彼は「あなたの人生に恋愛はあるのか」と聞いてきました。私は、「どういう意味だ」と切り返しました。「誰か恋人はいるのか」と聞くので、「もちろん」と答えました。「誰かから愛されているのか」と聞くので「そうさ」と答えました。彼は私がほっぽり出されていると思ったのでしょうか。「良かった。」そして、私たちはウォッカで乾杯しました。すべてはうまく行っています。

もちろん、私はリュドミラ（元妻）と良い関係にあります。私たちは定期的に会います。子供たちともです。私が望むほど多くは会えませんが、すべて順調です。

Kirov の新聞記者の Vladimir Mamatov 氏 :

国際マクロ経済と比べて私の質問はそんなに意味はありません。私たちの州ではクヴァス（ロシアの発酵飲料）を生産しています。問題は、コークやペプシなどよりも味が良く値段も安いのにオーシャンやその他の小売業者がそれを買わないことです。スーパーマーケットの棚にクヴァスを載せるために何か方法があるのでしょうか。

プーチン大統領 :

これはとても良い質問です。私は専門家がどうして特に子供たちに対してコークが良くないというのか解りません。私はコークを攻撃するつもりはありません。彼らの商売です。しかし、私たちにも自身のノンアルコール飲料があるのも事実です。国産のミネラルウォーターも良いです。明らかに私たちはそれらを推奨すべきです。しかし、それは命令して出来ることではありません。私たちは誰かを強制的に市場から追い出したり、ロシアに進出して一定の地位を築いた投資家に対して不利な環境を作ることはできません。私たちにはそれはできませんが、あなた達が国内市場に戻ることを支えることはできます。それは簡単なことではありませんが、私たちは支援します。

Cihan New Agency の Fuad Safarov 氏 :

プーチン大統領、あなたは最近トルコに公式訪問されました。奇妙なのはその後でヨーロッパの官僚たちが相次いでトルコを訪れていることです。彼らはトルコが制裁に加わることを確認したがつているのです。これについて何かコメントはございますか。そして、2

国間関係の見通しについてどう考えますか。

2 番目の質問です。北キプロスという認識されていない国があります。彼らは 40 年間も欧州の制裁の対象とされています。彼らはロシアがキプロス問題の解決を支援することが出来ると考えています。

プーチン大統領：

2 番目の質問から始めましょう。北キプロスと南のキプロス共和国に対して、ロシアはバランスのとれたアプローチを行い、北のトルコや南のギリシャにも適う解決を行おうとしています。

私たちはトルコととても良い関係にあります。同様にこれは北キプロスについても同じです。ギリシャについては特別な関係があります。宗教上の一体感を忘れないでください。これは特殊で地域的なことですが、国民にとっては非常に重要なことなのです。

以前と同様に、私たちは、これはとても重要なことですが、住民たちが彼ら自身で折り合うように、外部からの強制を用いないバランスのとれた解決を追求していきます。外部からの干渉や強要があると、合意は長続きしないものです。

しかし、まだ、強くなったり弱くなったりしますが、いくらかの楽観があります。接触や、国境についての要求に関する自由化や譲歩があります。私たちはこの方向で進むことを継続していきます。

トルコが制裁に加わることについては心配されています。これについて私には迷いはありません。トルコに訪れた際に、私はエルドアン大統領に、「今、公言しない方が良いでしょう。熊をつつく必要がありますか。彼らはすぐに襲ってきますよ。」と言いました。エルドアン大統領は強い個性の持ち主です。彼はそうしないこともできたでしょう。「いくつかについては公表を止めましょう」と私は言いました。彼はしばらく黙り、「いや公表しよう。何も隠すことは無い。私たちは何も盗んでいない。私たちは相互の関係を尊重しよう。」と言いました。これが私たちのトルコのパートナーの選択でした。

私たちの歴史には、ケマル・アタテュルクの時代の良き出来事を含め、様々な悲劇やドラマチックな出来事がありました。これに関連して、ヨーロッパでもまた異なった国々や国民の間関係は簡単なものではありません。

ドイツとフランスの 2 国について述べますと、この 2 国はこのような状況でどのように関係構築を行うべきかについて良い事例を与えてくれます。彼らの間では、第一次世界大戦、第二次世界大戦、1870 年など多くの戦争がありました。しかし今日、彼らは単一の共同体のメンバーであり非常に効率的に協力しています。

ロシアとトルコは非常に多くの一致した地域的利益を有しています。さらに、多くの地域的問題はトルコも参加してそれに取り組みない限り解決できません。これが、私たちが非常に強く両国の関係の発展に高い関心を有している理由です。そして、私たちはそれを実行します。

新華社通信の Fan Weigo 氏 :

プーチン大統領、過去とこれからのロシアと中国の関係の見通しについてあなたはどのように述べられますか。BRICS と SCO (上海経済機構) のサミット会談がウファで開催されますね。これらの機関におけるロシアと中国の協力についてどのようにお考えになりますか。

プーチン大統領 :

後の方から始めます。SCO はソ連崩壊後に旧ソ連邦と中国の間の国境に関する問題を解決するために創立されました。この観点においてそれは非常に有益で効率的でした。両国間の関係構築において何の問題も軋轢もありませんでした。私たちは中国と、ロシアを含む SCO メンバー国の利益の尊重を基本としてこの問題を解決しました。SCO は当初の目的を超えました。要求が増加したため、それは当初の設立目的以上のことを成し遂げました。国際的コミュニティや SCO メンバー国が協働の継続の必要性を理解していなければこれは行われなかったでしょう。御存知のように、イランやパキスタン、インド、その他のオブザーバー国も私たちとの協働に興味を持っています。インドやパキスタンはフルメンバーになるための申請に署名を行いました。これについては現在審議中です。

これは、疑い無くロシア連邦と中華人民共和国の間の関係に影響を与えます。国として、中国はロシアの最大の貿易、経済のパートナーです。両国間の貿易は今年約 900 億ドルにものぼります。それは国際的な経済問題にも拘らず増加しています。そして私はそれが今後も増加することを確認しています。私たちの最優先事項は貿易や経済を多様化することです。私たちはハイテク製品のシェアを増やすことにより貿易構造を変えることにより関心を払っています。御存知のように、私たちは原子力発電所を建設中であり、中国が望むのであればこれを継続します。私たちは宇宙探索や飛行機や重量運搬ヘリコプターを含む航空機製造で協力しています。

私たちはまた、いくつかの将来有望な分野でも協力しています。しかし、最も重要なことは、私たちは世界の安定というような国際的局面について多くの共通利益を有しているということです。私たちは国連や安全保障理事会で非常に親密に活動しています。これらの機関におけるロシアと中国の協力は国際情勢の安定化にとって重要な要素です。

Financial Times の Courtney Weaver 氏 :

エフトシェンコフ氏について質問があります。彼は昨日釈放されました。彼に対して訴追が行われたのでしょうか。彼がバシネフチ (ロシアの国営石油会社) を国家に渡した後すぐに彼が釈放されたのは何故でしょうか。これはロシア国内でゲームのルールが変わったことを示しているのでしょうか。

プーチン大統領 :

バシネフチのケースは、民営化の見直しを意味するものではありません。裁判所は民営

化の適法性は問わなかったからです。裁判所はロシア連邦から地方政府への資産の所有権移転について判断したのであって、民営化について判断したのではありません。繰り返しますが、これは民営化とは何の関係もありません。エフトシェンコフ氏が行ったことについて検察が疑いを持ったのは、検察の評価に拠れば 50～70 億ドルの価値のあるロシア連邦の資産を彼が 20 億ドルで購入したということでした。それは彼が非常な値引きを行ったということよりも、それによって権限のない所有者の資金洗浄に加担したということでした。しかし検察側はこれについて十分な証拠を集めることが出来ませんでした。そして彼に対する嫌疑が無くなったのです。システム（ロシアの複合企業）から連邦への所有権移転については民営化と何の関係もありません。繰り返しますが、裁判所に拠ればこれは、連邦の所有から地方政府の所有への非合法的な移転に関することでした。それだけです。

私は、かつて燃料やエネルギー以外に電子機器など他の分野の開発でも多くを成し遂げたシステムが市場でその地位を取り戻しそれ以上になることを望みます。私はこれについて年末に実業界のリーダーたちと話します。これは定期的な会合であり、エフトシェンコフ氏も招待されています。

Georgian TV Maestro の Tamara Gotsiridze 氏 :

ロシアとグルジアの関係についてどのような見方がありますか。ロシアはグルジアについてももう諦めているのでしょうか。それとも関係は新しい段階に入ることが出来るのでしょうか。グルジアと EU や NATO との最近の力強い関係はロシアとの関係よりもより活発です。

ロシアとグルジアの首脳が会う時が来ているのではありませんか。何か議題はありますか。

最後の質問です。紛争解決においてロシアはどのような役割を果たせるのでしょうか。ロシアがグルジアの 2 地域の独立や軍隊の派遣を承認していることによって、紛争が収まらないのです。これについてロシアは何を行えるのでしょうか。

プーチン大統領 :

御存知のように、南ウクライナと同様にこれはその地域の住民の折り合いに拠るのです。かつて、今は逃亡しているミハイル・サアカシェヴィリを説得しようとしたことがあります。私たちはこれについては全く関係ありません。グルジア政府が彼をウサギのように世界中で追いかけていることについてロシアが背後にいると言う者はいません。それは私たちのプランにはありません。ロシアは関係ないのです。私の知るところに拠れば、彼は米国のワーキングビザすら取得できないらしいですが。

一方、私は彼に対して、「サアカシェヴィリさん、これはしてはいけません。何が起ころうとも軍事行動は開始してはならない。」と言いました。「いやそれはしない」と彼は約束したのですが、軍事行動を行いました。その結果は良く知られたことです。今、これから復活することは困難です。

私は、これはグルジアやその国民にとって苦痛であり流血であると理解しています。一方、誰もが 1919 年を憶えています。当時、状況は非常に困難でした。ロシア帝国の崩壊の後でグルジアは独立国の設立を宣言し、アブハジアはロシアに留まりたいと言いました。過酷な軍事行動や戦争行為は同じです。これは忘れられることはありませんでした。私たちはここからは始めないのです。私たちは何時も聖書の原罪や、何かを引き起こしたものを非難します。私たちは何も引き起こしません。それは単純なことでその住民と同調することが必要なのです。そして私たちはこのプロセスに貢献する用意があります。しかし、この忠告は結局無視され、戦争行為が始まりました。ロシアはこれらの共和国の独立性を認めたのです。私たちは事実を見なければなりません。

これらの状況下で何かを行うことができるのでしょうか。正直に言ってこれは大変困難です。しかし、最初の段階では、関係や直接的な接触が構築されるべきです。何らかの政治的な会話が行われるべきです。全てを拒絶することは間違いです。これが行われたら私たちはこのプロセスをうまくいくように行えることをすべて行います。そしてそれがどんな結果をもたらすのかについては、今ここでは言えません。

首脳会談については、残念ながらグルジアにはあまり知り合いがいません。実際全くいません。しかし政治的な努力が行われているので、それを待ちましょう。私たちが要求されていたことは、ロシアの市場をグルジアの製品に開放することです。ロシアはこれを、グルジアが政治的な不一致にも拘らずロシアの WTO へのアクセスの邪魔をしなかったことに応えて実施しました。これはグルジアの指導者の建設的な態度であり、私たちは市場開放によってこれに応えたのです。

私たちにはこの方向で進んでいく用意があります。グルジアの首脳陣が可能であれば、大統領であれ首相であれ、私たちはグルジア政府の代表と喜んで会います。

チェチェン共和国内閣府報道官の Alvi Karimov 氏：

ロシアに対する制裁や敵意は 1 つのことですが、今まで友好国と思われていたスラブ系の国も加わっていることには失望します。

この面で質問致します。セルビア、ポーランド、チェコ、ブルガリア、などのスラブ系国家が正式なものでなくても、何か友好的な連合を設立することが出来ないのでしょうか。英語系の諸国が今行っているように、国際的な舞台で調和して働くことはできないのでしょうか。

もう 1 つ質問があります。ソブチャック氏は事実に対して誠実ではありません。カディロフ氏は憲法を犯していませんし、チェチェン共和国の領土でそのような法律違反はしていません。

交通警官や教師、ジャーナリストなどの全く無実の人々の命が尊重されなかったり、あなたの兵士が殺されたり、普通に仕事をしていた交通警官が子供や妊婦を残して殺された場合に、共和国の首脳が、ある家族がテロリストと連絡をとっていることについて 100% 確信したとしても、その家族はテロリストを国内に入れたりはしません。家族は彼らを森に

呼んで健康状態を尋ねたりするだけです。

共和国の首脳はそれを法に照らして、「テロリズムの共謀」と言います。彼は「彼らは責任を取らなければならない」と言います。あなたの考えでは、私たちは全ての武器や装備を使ってテロリストが何百、何千という人々の命に脅威を与えることを防がねばならないのでしょうか。このケースでは、対策が適切に行われなければ犠牲者は 500~1,000 人に上ると思われます。

プーチン大統領：

犠牲者やその家族に対して、私は、ラムザンは軍隊を派遣するとは思いません。必要であれば私たちは助けに行きますが。これが最初のポイントです。第 2 に、共謀についてですが、全ての共犯者はそれに対して責任を負うべきですが、もちろんそれは法律に則って行われなければなりません。共謀についての調査に拠ってそこで何が行われたのかが明らかになるのです。一方、私たちは常にテロリズムと戦わなければならないのです。それには幫助や教唆も含まれます。それは疑いのないことです。しかし、繰り返しますがこれは法で定められた範囲内で行われなければならないのです。

スラブ系の国家については、彼らが困難な経済状況にあり、常に多くのプレッシャーの下にあることを御存知だと思います。ロシア経済ですら海外の経済情勢の影響を受けます。そして、経済制裁によってもある程度影響を受けます。これらの小国はなおさらです。彼らは非常に依存度が高く、彼らの独立性を保つことにおいて多くの課題に直面しています。しかし、私には、深いところで、スラブ系国家の間で、政治ではありませんが、文化や精神を保持することに対する強い願望があります。この願望はここにありこれからも存在します。決して根絶やしされることはありません。

Auto Radio の Natalia Seldemirova 氏：

我が社のラジオ局名が自動車に関係あるので、これについてお聞きします。

最初にお聞きしたいのは、ロシア側からの対抗制裁が導入された際に、自動車の輸入禁止の可能性について噂がありました。それは自然に起こりました。禁止は行われませんでした。為替変動によって自動車は輸入されなくなりました。そのような輸入禁止が実際に導入されることについて、論理的に可能性がありますか。

次に、今、私がワニの玩具を持っていることは偶然ではありません。普通の人々がレッカー移動のことを「ワニ」と呼んでいることは御存知だと思います。私が手にしている玩具はかわいいですが、実際に生きているワニは非常に危険な人食いです。彼らにとっては何でも食べ物になります。

国民はただ、ひどい罰金に対応できなくなっているのです。それはしばしば非常に重たいものです。家の近くに車を止めると夜のうちに車が引っ張っていかれます。これがモスクワで起きているのです。

3,000 ルーブルという罰金だけではなく、車が移動されているので、運転手はそれ以上に

出費しなければなりません。不幸な運転手は翌日中、町を走り回らなければならなくなります。これは、何百ルーブルものビジネスです。誰もが知っています。あなたは、特にこのような困難な経済情勢下で、そのような強制が正当だと思われますか。

プーチン大統領：

自動車の輸入については、私たちがこのような手荒い制裁に直面した時に、政府がどうやって応酬するかについて考えたことは確かです。中古車や新車の輸入を禁止するべきだという意見もありました。何故ならば、全ての世界的なブランドはすでにロシア国内に製造拠点を有しており、完成品の輸入は疑いなく彼らの地域の運営を支えたでしょうし、それは、制裁を導入した国に対して厳しい一撃になったであろうからです。

今日の為替レートの状況では、経済的な秩序は失われたというあなたの見解は全く正しいものです。為替レートがすでに物事を遠くにやっしまいました。私たちは、「少なくとも構成部品の 50%は地域で作らなければならない」という条件に合意してロシアの地方に進出した外国企業も含む製造業者を救済するという決定を続けます。

レッカー車については、少しやりすぎかも知れません。しかし歩行者も自動車の持ち主と同様の権利を有しており、彼らの多くが特にモスクワの繁華街で、車が多くて運転することはもとより歩くことさえもできないと不満を持っていることを理解する必要があります。モスクワでは、世界の他の首都と同じように、状況を改善するために行動しなければならないのです。

繰り返しますが、少しやり過ぎる面もあるかも知れません。それは公式な規則に従って行われるべきです。規則は公に適用されるべきであり、それが適用される前に公聴会が行われるか、必要であれば、Russia Popular Front や Civic Chamber のモスクワ支部や、国会議員などの様々な公的機関によって承認されるべきです。

しかし、規則がいったん実施されたら、それは自動車の持ち主や地方政府など全ての者によって遵守されるべきです。しかし、罰金は法外なものであってはなりません。それは平均収入に適合させなければなりません。私はそれがどれ程過大であるのか知りませんが、常識に基づくべきです。

カリーニングラード州² のタイトルが見えます。彼らから話を聞きましょう。ロシアではとても重要な州です。

カリーニングラード州 Kaliningradka 新聞社の Yelena Nesmachnaya 氏：

私たちがロシアの他の地域から隔離されていることについては誰もが知っています。それは私たち自身が「私たち」と「大ロシア」と呼んでいるものです。残念ながらそれは本当です。私たちは友好国によって囲まれています。少なくとも私たちは彼らを友人とみなし、しばしば訪問します。しかし、彼らが NATO の勢力を拡大し、私たちの近くで防御を強化し、私たちが彼らを攻撃しようとしていると伝える、彼らの報道を良く耳にします。

² ポーランドとリトアニアに挟まれたロシアの飛地領

プーチン大統領：

あなた方は攻撃を計画しているのですか。

Yelena Nesmachnaya 氏：

いいえ、私たちは何も計画していません。これについてはあなたに聞きたいのです。

プーチン大統領：

お手柔らかに。

Yelena Nesmachnaya 氏：

別の質問があります。ロシアはカーニンググラード州の武力を増強しようとしていますか。もう1つ質問です。バルティツカヤの原子力発電所の建設はどうなっているのでしょうか。人々はこれについても心配しています。

プーチン大統領：

バルティツカヤの原子力発電所は現在建設中です。私の知る限りでは、セルゲイ・キリエンコ（ロスアトム社の社長）によれば、建設は計画通りです。ロスアトム社はとても効率的です。ロシア国内や輸出されるプロジェクトの技術は、全ていわゆるポスト福島のものであり、とても安全性のレベルの高いものです。私は、どのライバルもこのように安全な技術を持っていないと思います。これが第1の見解です。

次に、あなたの隣国との関係についてですが、私は地域間の関係は、大げさでなく、非常に友好的で良好であると思います。私は地域の首長やカーニンググラードの公務員がそのような隣国関係をより発展させることに興味を持っているというのを聞きました。ポーランドやドイツから多くの人々がカーニンググラードに旅行に訪れますし、カーニンググラードの住民も近隣諸国に良く行きます。

私は恐れを捨てて、協力を推進することを継続するべきだと考えます。

「退役軍人」と言っているポスターが見えます。この機会に話したい人すべてに機会を与えるべきです。どうぞ。

Novaya Zhizn の Alexei Ivanov 氏：

ヴォログダ州から来ました。プーチン大統領、来年私たちは第二次世界大戦勝利 70 周年を迎えます。私たち退役軍人は生活水準の向上についてあなたに非常に感謝しています。

しかし、戦時中に戦線の後方で働いていた人々もいます。これらの人々は国を守る戦いの勝利のために大きな貢献を行いました。あなたや政府にこのカテゴリーの人々の生活水準を向上させる計画がありますか。

プーチン大統領：

私たちは何時でも国内の戦線で働いていた人々や退役軍人には国から当別な配慮が行われるべきであると確信しています。私はあなたが示した課題についても十分認識しています。ですが、もう一度繰り返させてください。私たちがこの決断を行った時に、(私自身が行ったのですが)、第二次世界大戦の退役軍人に対してもっと早くより良い住居を提供することについて、最初は何万というケースを想定していました。しかしこれを始めるとそれは何十、何百万人ということになり、その数は今でも増えています。それは社会的影響や、予算的影響において予期できないものでした。

従いまして、私たちは最初に退役軍人に対して計画していたことを完了させる必要があります。私たちはもちろん、国内の戦線で自己を犠牲にして働き、第 2 次世界大戦の勝利をもたらした人々のことも考えなければなりません。

私はここで申し上げたことについて、非常に注意しなければなりません。現在の状況下では、私たちは国内すべての人の前で公式な発表を行う前に、全ての手順を経る必要があります。

赤いサインが見えますね。そこには若い女性が気付かれなくて座っています。

Sobesednik の Liana Nalbandyan 氏：

私に気付いて頂きましてありがとうございます。今年、あなたは国民の間で非常に高い支持率を得ました。最近の投票でロシア国民はあなたを政治におけるマンオブザイヤーに選出しました。対抗者は 2~4%しか得票できませんでした。大きな差がありました。このような秀でた存在、政治における孤独をあなたは気にしますか。

プーチン大統領：

私は飽きることがありません。それについて心配することはありません。私はこれについては何度も話してきました。これは永久のものではありません。これについては真剣な態度でなければなりません。私にとって真剣な態度とはなんのでしょうか。それは、自分のレーティングを保つことなど気にせずに働くことです。レーティングについて考え出すとすぐにレーティングは落ちます。何故ならば、実際に働くよりも働く振りをするようになるからです。

いまのところ、このような働き方が私を裏切ることはありません。私は、良い記録を紙に残すよりも国や国民の利益のために、将来もこれに執着して良い結果がもたらされることを望みます。これが目的です。

ショールを羽織った若い女性の方、どうぞ。

Znak.Com の Yekaterina Vinokurova 氏：

ありがとうございます。指名して頂かなければボスに殺されるどころでした。

プーチン大統領、私は他の発言者が始めた「第 5 列」と政敵に関する話題を続けます。

例えば国家予算から何兆ルーブルも借入れ、それで 아이폰 を何百万と購入し、国内市場における債券の値を下げ、しかも何百万ルーブルものボーナスの支払いを行うような者をロシアの敵と見做すべきでしょうか。あなたの内輪の仲間も含めて宮殿に住んでいる国家職員で、私たちの老人たちがパンを買うためにコペック（旧ソ連の通貨）を数えていると思っている者や、国家に統制されたテレビ局の代表者で虐待された子供の映像を流すことによって西側に対する私たちやあなたのイメージを傷つける者、最近数カ月の高まる緊張の中で公然とロシアの武力攻撃開始を訴える者、他のことには興味を持たずグループで芸術家が盗難は無かったとしていることについて、Alexei Navalny 氏の盗難を捜査している警官などはどうでしょうか。もう 1 つ、イーゴリー・セーチンの報酬はいくらですか。

プーチン大統領：

私はセーチンの報酬を知りません。正直に申し上げて私は自身の報酬も知らないのです。それはただ私に与えられ、口座に入金されるだけです。セーチンについては、本当に私は分かりません。大きな会社に勤めている者が良い報酬を得ていることは知っています。しかし私たちは彼らの報酬を国内の平均収入ではなく、世界中の同業者の収入と比較すべきです。

セーチンは今そこで働いていますが、明日、私たちは外国の専門家を連れてくるかも知れないのです。ただし、これはセーチンをクビにすると言っているのではないのです。彼は働き続けるでしょう。彼はとても聡明で非常に優秀な経営者です。私は今彼について話をしていてのではありません。私たちは海外の専門家を雇うことも出来るが、国内の専門家と異なった給与を支払うことはできないということです。これは、その部門や国際化と関連があります。しかしそのようなやり方は不適切です。

しかし、もちろん社会的な正義といった面も顧みられなければなりません。例えば、ゴールデンパラシュート³ というものがあります。私は国会議員や政府高官についてそのようなゴールデンパラシュートは排除されるべきだと考えています。他の国ではそのようにしていますし、続けられるべきです。私の内輪の仲間についてですが、私にはそのようなものはありません。そのようなものは今後もないことを望みます。私には同僚がいますが、彼らと特別親しい関係は構築しません。個人的に親密な関係があると機能的に働くことがほとんど不可能になる国家機構もあります。私はだいぶ前にそれに気づきました。そして誰からも一定の距離を取ることに注意しました。もちろん関連する責任に十分な理解を持ち、愛情を持って接していますが。常に苦しんでいる政府職員がいますが、彼らの効率的な仕事ぶりが、社会や経済の健全さや何百万人という国民の運命に不可欠なのです。

海外に出ていく人には行動の中に何かしらの兆候があるでしょうか。おそらくあるでしょう。これはいつでもどこでもあります。報道機関がこれに注目するとすれば、これは全ての不摂生に対抗するための良い手段となるでしょう。あなたはこれらの人々について話をされているのでしょうか。誰もが意見を持つことは自由です。誰もが自分の意見を言うことが

³ 敵対的買収による取締役の解任を防止するために高額な退職金を設定しておくこと

出来ます。しかしそれは法の規制の中で、国を揺り動かさずに、究極の真実を言う権利を独占しないで行われるべきです。

イランについてはいかがですか。

Delovoi Iran の Rajab Safarov 氏 :

ちょうど 1 年前、このホールであなたは、「イランは私たちの隣国であり、最優先のパートナーだ。私たちは全ての領域においてイランとの関係を推進しようとしている。そしてこれが我が国の基本的選択だ。」と話されました。

しかし、1 年が経ちましたが、実際には貿易は減少し、特別な、広い範囲に亘る契約につながりそうな合意は何もありませんでした。イランは SCO（上海協力機構）にも招かれませんでした。イランはユーラシア・コミュニティのメンバーでもありません。イランは主要なエネルギープロジェクトのパートナーでもありません。今年の初めに締結された原油の契約も実施されていません。

さらに、今年のイランとロシアの貿易は、ロシアと他国との貿易の 0.5%にも満たないものと思われま

す。逆説的ですが、ロシアにはこの状況について責任のある人がいません。イランとの貿易の減少について責任を有する政府職員も政治家もいません。あなたが、貿易量や貿易・経済関係の発展について、国を代表する政府の責任者を任命すべきであったかも知れません。

そしてもう 1 つ、多くは外交官の実績に拠ります。彼らの実績は別の面から見られるべきではないでしょうか。

外交官が 1~2 年の間に経済関係や貿易を少なくとも 5%増加させることが出来ないのであれば、彼は交代させられるべきでしょう。私は多くがイランとの関係によるものと考えています。あなたは昨年、イランへの訪問を約束しましたが、実現していません。イランとの大きな契約を行うことを約束されましたが、これも行われませんでした。あなたの戦略に何か変更があったのでしょうか。それともあなたの部下があなたの指令を実施しなかったのでしょうか。

プーチン大統領 :

最初に外交官についてですが、もちろん国家間の関係を推進することも外交官の任務の 1 つです。しかし貿易を増加させることは彼の任務ではありません。もしもあなたの要求に従うのであれば私たちはすぐに外交官が不足してしまうでしょう。

外交官の仕事の評価については、外務大臣報告に基づいて、外務大臣や最終的には私によって決められるべきです。私たちは私たちのイラン大使館についても評価しなければなりません、全体としてその活動に満足しています。

貿易については、これは停滞しました。私はこれについてイラン大統領と話し合い、その構造や量を改善するための行動をとりました。

しかしそれは私たちだけの責任ではありません。世界経済の状況にもよるのです。これ

は純粹に客観的なプロセスです。何故ならば、イランはガス生産国であり、全世界のガスや原油部門と強くつながっているからです。

私たちは油価の下落を認識しています。人々はこれがなぜ起きたのか疑問に思っています。イランを罰したり、ロシアやベネズエラの経済に影響を与えることを目指したサウジアラビアと米国の共謀なのでしょうか。

そういうことも有るかも知れませんし、無いかも知れません。伝統的なエネルギー資源の生産者とシェールオイル生産者の間の戦いなのかも知れません。原油価格は生産コストに急速に近づき、それよりも下がる可能性もあります。全てが崩壊すれば原油価格は再び上昇するでしょう。しかし定かではありません。米国の利益は主要なエネルギー生産者の利益と同調するのでしょうか。それはもちろんです。何故ならば米国政府はシェールオイルに対する民間企業の投資など気にしてないからです。彼らにとっての優先事項は、全体的な原油の価格です。

しかし、油価が下がり続ければ、企業は回復困難な埋蔵量や新たな鉱床に対する投資を行わなくなります。そして経済の成長と共に油価が工業化した諸国にさえも悪影響を及ぼすほど値上がりするでしょう。多くの人がこれを理解しています。

ところで、私たちの中国の友人はこれをよく解っています。彼らは非常に低い油価が長く続くことに興味はありません。しかし、イランはこれに依存し、それについては何もできません。私たちはイランとの関係の多様化を目指しています。私たちはこれを継続し、真剣に行っていきます。

私たちはある分野では成功し、ある分野ではそうではありませんでした。私たちは機械製造や、飛行機製造などや、原油やガス部門の多様化に取り組みました。あなたが言及した契約については、ここにいる誰にも責任が無いと言ったことは間違いです。私たちのエネルギー大臣は何度もイランに訪問し、私たちのパートナーをロシアに招きました。

これは、歩み寄りや、相互が受け入れることの出来る解決策の探求でしたが、私たちは最後にこれを見つけることが出来ました。多くの困難な計算や課題がありましたが、全体的に解決することが出来ました。両者が互いの意向を示し原油を含む契約は両者の利益となるものであるべきです。

結局、政府がイランの原油を売っているのではないのです。これは関連する会社によって行われるのですが、この契約は彼らの利益になるべきです。これは簡単ではありません。しかし私たちはこれに真剣に関心を持ち、これを行います。貿易を増やす方法を探します。

もちろん、私たちはイランのパートナーや友人とイランの原子力プログラムについて協働していきます。私はこの課題は間もなく解決されると思います。私が思うに、イランの指導者たちはとても柔軟です。

一般に、私はどうしてイランの原子力プログラムの最終的な協定が署名されないのか解りません。私が近い将来にこれが行われることを望みます。これが行われれば私たちの経済関係も大きく変わるでしょう。

テヘラン訪問は私には全く可能です。私たちはこれについて外交チャネルを通じて話し

合い、私たちのパートナーと私たちにとって都合の良い時を選びます。訪問自体が目的ではありません。テヘランに行った時に私たちはそこで何をするのでしょうか。大統領に会います。しかし私は彼と面談したばかりです。しかも複数回です。私たちはコンタクトを取り続けます。

私たちが特別な訪問が必要と考えるのであれば、何の制限もありません。私たちには外部の圧力と結びついた制限などありません。私たちは原子力発電所の建設を約束しました。私たちは約束を果たします。

私たちは将来の協力についての合意書に署名を行ったばかりです。従って、これは厳密に技術的なことです。私たちはこれに取り組みます。

Otkrytaya Rossiya の Olga Panina 氏 :

私は、ロシアの母連盟の会長で、複数の子供の母親です。ニュースで、「ロシアの英雄的母親」というタイトルの法案の復活について報じていました。これは、年金補助や、まとまった資金の支払いを暗示しています。

あなたは、この名誉あるタイトルを復活させるための政策を支持されますか。そうであれば、この法案が近い将来採用されることを確約して頂けますか。あるいはこの提案の先鋒を務めて頂けますか。

プーチン大統領 :

私の、家族を支え、子供を求める女性など、人口動態的なことについての見解を御存知でしょう。これは経済面やモラル面からも重要なことです。ですから私はいつでも家族や母親、子供たちを支援する用意があります。

出産奨励金が導入された時に、これが女性に対する資金的、精神的な支えになると申し上げました。そして私は、ロシアの男性もこれを理解していることについて自信があります。この決断が女性と男性の両方に賞賛されました。それゆえ、人々はこのような政策を支持し将来も続けることでしょう。私たちは追加的な機会を探し、女性が私たちの精神的な支えを感じることを確実にするための新たな方策にたどり着くことでしょう。

この法案がどの段階にあるのか調べさせてください。この政策の前進を拒む問題は見当たりません。

私たちはすでに 3 時間余り質疑を続けています。この辺で切り上げましょうか。あと 3 つ質問を受けます。

2-TV Company の Nadezhda Peshekhonova 氏 :

「独立したテレビ局を設立させるべきだ」ということが良く話されています。しかし、一方で、有料チャンネルにおける広告を禁止する法律が 2015 年の 1 月 1 日から施行されます。この法律が、開かれ、独立した放送を推進しようとする努力に反するものだとは思われませんか。現在、放送局は様々な政府予算によって支えられており、独立したものとは

言えません。

個人的な質問です。私たちはケーブルテレビの者です。私たちは有料チャンネルではありませんが、ケーブル会社のネットワークにアクセスするために支払いを行わなければならない。法律家も、この法律が私たちのような局に影響があるのかについて判断できないのです。

プーチン大統領：

私はこの件について完璧な意見を申し上げることはできません。私が言えるのは、この状況は完全に経済的な要因によるということです。最近の経済情勢の下では広告宣伝の市場は縮小しています。そのため私たちは、連邦の放送局を直接連邦の予算で支持するのか、（私たちにはその他に年金、軍事費など多くの支払いがあり、非常に込み入ったことです。全ては予算に関係しています）それとも縮小しつつある広告宣伝市場から利益を取るようさせるかについて協議しました。

これは政府から行われた決定や提案ではありません。これらの決定は、メディアの代表者、もっと詳しく言うとこれらの放送局の社長たちによって行われたものです。決定の理由は、ケーブルテレビが存在するのであれば、それを廃止することはできないが、彼ら自身がお金を得ることを学ばなければならないというものであり、それは料金システムへの変移でした。そしてそれは視聴者が支払いたいかな否かを定めるものでした。

First Crimean Tatar Television Channel の Safiye Ablayeva 氏：

今年の春、あなたはクリミアから召還された人々の社会復帰についての大統領令に署名されました。しかし、地方政府はその実施について全く努力していません。どうして指令が空回りしているのでしょうか。

プーチン大統領：

私はそれが空回りしているとは思いません。それは地方政府によっても、誰によっても撤回することが出来ません。私たちは、タタール人であれ、ドイツ人、ギリシャ人、アルメニア人であれクリミアから召還された全ての人に対する政策的な社会復帰について公表しました。私はこれには重大な政治的、道義的な意味があると思います。

しかし、これについては追加があります。これはあなたが述べられた大統領令によって連邦レベルで適用されたものですが、私たちは、クリミア半島で話されているロシア語、ウクライナ語、そしてクリミア・タタール語は全て公式な言語であることを宣言しました。これはクリミア・タタール民族の歴史にとっては初めてのことです。これは、クリミア・タタールの人々の感情や、彼らが自分自身を完全なロシア国民と認識することに関わる重要な事でした。これも、もちろん州レベルで着実に実施されなければならない。

もっと重要なことがあります。土地の公認に関することです。私はこれが実に複雑であることを知っています。クリミア・タタールの人々だけがクリミアの住民ではないのです。

私は、全ての人がこの決定に賛成しているとは言い難く、不法占拠者によって乗っ取られた土地の公認が続くのであれば、秩序は確立されないと考えています。

しかし私は、クリミアに居住する人々が私の言うことを聞いて信じることを望みます。抑圧された人々については他の問題です。国は彼らに多くの借りがあります。これは終わりとするべきで、その後、私たちは誰もが平等であり法には従わなければならないという状態が訪れます。

個人の国籍や民族性に関係なく、誰もが法に従わなければなりません。そして、もちろん、地方政府は法の忠実な実行のために、誰にも受け入れることの出来る解決策を見出すべきです。これについてはクリミアの議会で話し合われています。最終的な決定が行われていないのであれば、行われるべきです。これが2番目です。

私たちはクリミア・タタール人やその他の抑圧された人々に対する経済的、社会的な支援に関するプログラムに取り組んでいます。それには道路建設、保育所、その他の公共サービスが含まれます。

残念なことに、これは一晩で成し遂げられることではありません。しかしそれは課題が忘れられていることを意味するものではありません。それは何故短期間に成し遂げられないのでしょうか。それは資金不足のせいではありません(資金調達は常に問題となります。もっとも富んでいた時代ですら全ての事に対する十分な資金はありませんでした)。それはより詳細な計画を必要としたためです。私たちはどこで何をどのように建設するかを決める必要があるのです。私たちはいずれそれを成し遂げます。

最後の質問です。なにか経済についてはいかがでしょうか。経済で始まり経済で終わるのはどうでしょうか。

Dow Johnes の Alexander Kolander 氏 :

プーチン大統領、あなたは、油価下落によってルーブルが下がり経済的な問題が生じたとおっしゃいました。しかし、ルーブルの下落は2013年に始まり、投資の流れの縮小はそれよりも前に始まっています。政府の経済関係担当者はルーブルの下落が始まる前から経済的問題について話をしていました。この状況は風邪と似ています。健康な人はその兆候を無視し続け、病人は同じ風邪によってより苦しむのです。

この2~3年間の国内政策や外交と同様に、経済問題は人の判断の結果引き起こされたとは思いませんか。あなたは個人的にルーブルの下落や経済問題について責任があるとは思われませんか。

最後の質問ですが、次の大統領選挙への出馬について決定されたのでしょうか。そしてその決定は、ルーブルのレートや経済の状況に拠るのでしょうか。

プーチン大統領 :

それは、大統領、政府、ロシア中銀という私たちの業績の結果によります。2018年の大統領選挙への出馬について何か決断を行うのは早すぎます。私たちはロシア国民の利益の

ために懸命に働き、その業績や国民の感情を考慮して、2018年に誰が出馬するべきかが決められるのです。これが最初の答えです。

次に、当局者が政治の階層性と考えるように、国家の元首は国で起こる全てのことに對して常に責任を負っています。私は責任を回避しようとしたことはありませんし、これからもそうしません。

最後に、個人的な過ちについては、誰もが過ちを犯すものです。概して個人の責任を強化すべきだと思います。ロシア中銀や政府の職員は、彼らに委ねられた仕事に対して責任を負っています。政府や中央銀行を含むほとんどの行政機関は、ロシアが今日直面している問題に対処しなければなりません。冒頭にも申しましたが、私は以下を締めくくりとして繰り返します。私たちは確かに困難な時期に突入しています。困難は、客観的、また恐らくは主観的な状況によって生じたものです。より早く、より断固として行われるべき措置もあったかも知れません。

全体的に、ロシア中銀や政府は正しい政策を行っていると思います。これは、利用可能な準備金を活用してマクロ経済の安定性や健全な経済を維持することによって、私たちが2012年の大統領令で定められた社会的目標を達成し、現在の問題を中期的あるいは近い将来に克服することが出来ると私が信じる根拠です。

私は常に何故これが起こり得るのかについて話してきました。経済は徐々に低い油価に適合し、多様化し始めるからです。

次に、低いエネルギー価格が続き、また、さらに下がり続けたとしても、世界経済やエネルギーに対する需要が成長し、エネルギー価格が再び上昇し始める時が訪れます。

私はこれについて完全に自信があります。しかし、それはどのようにして起きるのでしょうか。今後、金融や経営者や政府がどう取り組むのかを見て、評価しましょう。

最悪の時は去り、国内から始めて世界経済や国際段階でも、私たちがこの非常に困難な状況を克服していくことについて、絶対の確信を持っています。私たちは、社会的約束に対応し、防衛を強化し、陸軍や海軍を近代化するために必要な資源を有しており、それを私たちの計画の実行のために例外なく用いていきます。

私たちの最優先事項は、国民の幸福を保証し、歳入が減少しても年金をインフレに適合させることです。私たちにそれが出来るでしょうか。確実にできます。来年、私たちは推定ではなく実質的なインフレに年金を適合させます。

私たちはその関心をこれからの国民の社会的幸福に集中させていきます。私は全ての目標の達成に自信があります。

ありがとうございました。良いお年をお迎えください。

以上